京城日報
二日夕刊
（夕刊併せて八頁）
發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社

◎平和提議條件具備
獨逸宰相の演說

獨逸無線電信に依れば露國の休戰並に一般平和交涉提議に關し獨逸宰相は左の如き演說を爲せり（倫敦電報）

予は露國の提議が今日の處にては平和談判の開始を爲し得るだけの條件を具備せるものなる事を是認すると同時に躊躇せず露國政府の全權を委ねられたる代表者を派遣せば直ちに交涉を開始す可し予は之等の交涉が直ちに來る可き平和に對し一定の形を與へん事を希望す

◎露獨全權委員の會見

十一月二十九日付露都來電に依れば露獨全權委員は十二月二日正午兩國戰線の中間クハリスキー村の西方ドヴィンスクヴィルナ鐵道の交叉點にて會見し一行は其れより特別列車にてブレストリトフスクなる東方戰線獨軍總司令部に至る可しと（倫敦電報）

◎墺首相講和快諾

墺國首相ツェルニン伯は墺國上院に於て墺國は露國と名譽ある講和商議を開始するに異議無き旨陳述せり（倫敦電報）

◎鎭海要港部職員更迭

一日附海軍大異動發表と同時に鎭海要港部職員中左の如く更迭あり（鎭海特電）

要港部參謀長海軍大佐伯爵 佐野常羽 補榛名艦長
海軍中佐 寺岡平吾 補參謀長
副官海軍少佐 普門卯之助 補矢矧副長
參謀海軍少佐 海津良太郎 補鎭津分隊長
海軍少佐 井上繼松 補參謀
前海軍主計中監 棚町五十吉 佐世保海軍工廠部員ヲ命ズ
軍醫大監 光長常次郎 補兵學校軍醫長
軍醫大監 宮尾信次 補軍醫長

◎大阪商議會頭

大阪商業會議所會頭に山岡順太郎氏を推すことに決定せり（大阪特電）

◎細亞局長來鮮

露國外務省亞細亞局長クリヤーム氏は二日朝釜山著領事館にて休憩同夜北行す可し（釜山特電）

◎軍司令官通過

松川軍司令官は竹內高級副官を從へ二日朝釜山鐵道ホテルに少憩の後午前十時半發列車にて歸任せり（釜山特電）

◎奧田代議士歸釜

代議士奧田猪造氏は二日著釜滯在中也（釜山特電）

の推移を姑く傍觀して然る後適當なる手段を執ることとなるべし而して過激派は聯合側が右提議を拒絕したる場合必ずや單獨講和の擧に出づべきは想像するに難からざるのみか既に過激派の代表者はストックホルムに於て敵國代表者と講和に關する或る運動をなし居れる模樣なり若し

▲單獨講和實現 の曉は露國を以て國際法の規定せる單純なる中立國と同一に論ずべきものにあらざるは明瞭にして事實上中立國の性質を超越したる國と見ざるべからざれば事此處に及んでは勢ひ聯合側と露國との外交關係は斷絕の外なかるべし斯くの如く露國の政情が過激派の掌中に在ると否らざるとに依り露國の運命に重大の結果を齎すべく又將來の外交關係の波瀾曲折も之に依り從て大きもなるべしと（東京）

◎滙銀創立進捗

日支滙業銀行株式割當に付ては大體日本側持株五萬株中三萬株を興銀、鮮銀、臺銀にて引受他の二萬株を東亞興業シンヂケート銀行其他支那に特別の關係を有する個人會社に割當る筈なりしも各方面の株式申込頗る盛況を呈せるを以て右三銀行の豫定株式を二萬五千株に減少し可成一般申込者の希望を容るゝ事に決定せる由にて本月末迄には愈々募入株式を確定し來月中に第一回拂込（一株の金額百圓中五十圓）を終了する豫定なりと尙準備專務取締役に選任されし柿內氏は未だ病氣臥床中なるに依り若佐興銀理事同氏に代り創立事務に當り居り事務所は興銀の一室に充當せりと

◎聯合國對露態度如何
巴里會議の主要題目

露國過激派政府は交戰各國に對し既に休戰講和を提唱せるが（帝國政府には未だ到達せず）之に對して聯合諸國は如何なる態度を執るかは最も注視を要する所也即ち倫敦宣言の精神より云へば右休戰の提議は素に已に該宣言に背反するに依り此問題は當然巴里會議の重要議題となる可く之と同時に過激派政府を承認するや否やも是亦該會議に於て當然附議せらる可きも同會議が斷じて之を承認せざる可きは極めて明白なる事實也從つて承認せざる政府より致せる

▲無謀なる提議 を如何に處理すべきかに關しては
（一）全然該提議を握り潰すか
（二）該提議を拒絕して堂々露國の背信行爲を膺懲すべき適當なる手段を執るか
の二方策あるのみなるが第二の策は聯合國としては所謂最後の手段にして容易に實行し難きことなれば結局は第一の手段を執り形勢

◎無秩序裡秩序有り
不思議に安寧の保たれる浦鹽港
成鏡北道第二部長 山崎眞雄氏談

最近浦汐斯德及び其附近を視察して歸れる成鏡北道第二部長山崎眞雄氏は該地の狀況に就き其觀察談に曰く

予は十月十四日浦汐斯德に出張し同二十七日迄滯在、其間露領沿海州中二三の都邑を訪ひしが、種々面白く感じたることも有りし中に最も訝かしく

▲面白く感じ たるは、浦汐港其他予の訪問したる地方に於て、意外にも安寧秩序を保持されつゝある事是れなり、予は任地を出發する以前、各種の報道を綜合し、朧氣ながら之に下し得たる判斷に依れば、秩序を紊り、白日の下偷盜横行し混亂の極に陷れる彼地の狀態を想像せしむるのみにて、萬事其覺悟にて出張したりしに、愈々彼地に到著するや、其殷賑なる狀況にして、商人は店舖を開き、車馬の往來も平素と異なるべき樣なきを見て、寧ろ

▲意外の感 を爲せり、併しながら一兩日同地に留まり居りて如何にして其安寧が保たれつゝあるやを識るに及むで、更らに意外の感を深ふせり、何となれば浦鹽は夙に混亂に陷るべき要素を孕みながら不思議にも秩序を保ちつゝあればなり、今其一斑を述べんに、同地は露都其他と等しく極端なる民主思想にかぶれたる人民に依りて司配されつゝあり、勞兵會其他在住民の選出したる執行委員は常に人民の意嚮を重んじて市政を執り居れり、隨つて人民の意思の尊さは想像以上にて、露國は

▲人民の露國 たり、我等の信任する者にあらざれば施政の局に當るを肯ぜず、ツアーの定めたる階級制度の如きは、今日我等を拘束すべき理由なしとて、同地の要塞司令官に海軍中尉を選擧し、其副官に海軍少將を任命せるなど突飛なる珍事實は枚擧に遑あらず、同地保安の任に膺る警察官も勿論人民の選擧したるものにて、御意に背かば直ちに罷免せらるゝが定まりなれば、不斷人民の鼻息を窺ふに急にして、一人民に非違ありとも警察權の行使など思ひも寄らず、斯く亂され得べき狀態に在れども

▲平穩に其日 を過し居れるは不思議にあらずや、十月初旬彼の全露鐵道從業員の同盟罷業の報傳はるや、素破大事到れり、貿易は何れも戰々恂々たる有樣、日本領事館に於ても大に注意を拂ひ、入港中の邦艦に命じて居留民避難の準備をも整へしめたる程なりしが、當日（十月七八日と記憶す）と成れば市民は十分警戒を加へ居たるに、豫期の如き示威運動の行はるゝこともなく、何等騷擾の起らんとする氣配もあらざるより、聊か拍子拔けの氣味にて、多分同盟罷業は中止されたるならんと言合へりしが、

▲胡ぞ知らん 同盟罷業は豫告の通り決行され居て一邦商が商用の爲めハバロフスクに行かんとして停車場に到り、此事實を確めて報告したる由を聞きて始めて驚くべき狀態に在りしが、予は一驚を喫したる次第なり、斯の如き狀態にて何事にも不思議といふより外なきが、予は之れを以て何事にも[illegible]露國民性の然らしむる處にあらずやと思へり、[illegible]國民等は現に[illegible]過激派の[illegible]を謂へつゝも、中央に於ける過激派の

▲明ふるが如き[illegible]なる計畫も[illegible]實行され得べしとも信じ居らざるものゝ如し

◎天寶（鏡山）と北鮮

間島の天寶山銀銅鑛は鑛量豐富を以て名あり推定鑛量約十四萬噸の見込にて今や日支合辦にて[illegible]下に採掘經營の基礎確定し三百馬力を有する電氣の設備設計は近く竣工せんとし又目下工事中なる新熔鑛爐は遲くも來年六月までに完成の豫定を以て設備の進捗を期しつゝありと云へば[illegible]目覺ましく發展を遂ぐべき事は疑ひを入れず而して鑛業經營は一日約六噸の製錬能力を有し一年間の作業日數は[illegible]三百萬圓を超ゆるの計畫を以て施設中なれば少なくも[illegible]百五十萬圓は[illegible]其他となり[illegible]

◎咸北の遺利隱元豆
本年淸津港の神戶移出百五十萬圓

▲昨年の移出量 昨年來北鮮國境の經濟界を著しく賑はし居れるは白隱元豆なる如し白隱元豆は咸北並に間島に於て夙に以前より若干量の生產を見たるもそは鮮人の食料となる外貿易品として何等の價値を見出されざりき然るに突如昨年白隱元豆が米國並に佛國方面に多大の需要あり而して其の價格亦頗る高値なるに淸津商人の知る所となり俄に咸北及び間島方面に其の買出しを始めしものにて大正五年に於ては九千石約三十萬圓（一石三十餘圓平均）の神戶經由外國輸出を見たり

▲國境の特產品 咸北並に間島の農民は大正五年に於て前述の如き好況を以て來り思はざる利潤を懷にしたるを以て本年は自然自發的に其の作付の反別を增加せしと更に淸津方面の商人は隱元豆の好況持續を見越し盛んに農民に對し耕作資金の貸附を爲せし結果本年咸北並に間島產の白隱元は約六萬石に達すと觀測され其の作付狀況の良好なりしとは相俟つて本年の移出は五萬石を下らず價格約百五十萬圓と註せらる其內間島は約七割弱百萬圓咸北は三割弱五十萬圓と見るを妥當なりとするものゝ如し、咸北に新に移出貿易品五十萬圓の產額を出したる事は狀小なる同道の財界にとり非常の大事にして之れがために管內各地に於ける農民の喜悅は大方ならざるものあり近時咸北農民間の金融の稍緩漫の狀態にあるは主として隱元豆の移出によると稱されつゝあり

▲北鮮の遺利 [illegible]如斯農民の隱元豆に對する氣勢は昂り居れるに付大正七年の作付は間島及咸北を通じ十萬石以上の產を超ゆべし或は其の栽培面積の增加は大豆粟等の產額を若干減ずべしと雖もそは高價作物に讓遷せるものにして彼此相殺の結果廢產物にして大觀すれば其の利益たるや勿論なり而も隱元豆は內地に於ては北海道に產する外其の作付を見ず朝鮮にては北道並に咸南の一部に栽培する咸北並に北間島の一部を除く外其の栽培は之れをなし得ざる由にて寔に北鮮方面の遺利と云ひ得る如し

▲其の將來 隱元豆の用途に就ては世說種々あり或は火藥原料となるものに付大戰時特に高價に佛米方面に輸出せらるゝものなりと云ひ或は化粧品の原料たりとも云へども確かならず唯信ずべき調査の結果は隱元豆の用途を食料品の範圍外に出し居らず恐らく白人間に於ける高等の食料品なるべしと云ふ、果して然らば平和克復後も其の需要は大體に於て減少せざるべしと云ひ得べく其の前途も著しき暴落を見る事なからん、要するに北鮮の特產物として將來有望の貿易品なりと稱するを得べし

▲鐵道倉庫成績 十一月中旬鐵道倉庫成績は入庫高一千九百十二噸にして前年度に比し二千二百六十二噸を減少し出庫高は一千百五十五噸にして之又前年度に比し一千四百七十八噸の減少を示せり倉敷入金高にありては倉敷料四百十圓四十四錢雜收二十圓四十五錢合計四百三十圓八十九錢にして

◎勸業債券賣切

朝鮮各地郵便局所並に百三十銀行及び第十八銀行等にて一日より賣出せし割增附勸業債券七百萬圓は多少の申込ありし模樣なるも內地の應募激甚に付一日勸業銀行より全部賣切の旨電報あり直ちに締切りたり

◎慶北綿花相場

大阪に於ける綿花相場は益々昂騰の趨勢にあり同地商人は近時米本國に對する取引は總て先物取引のみに限られ直物の米本國取引は殆ど絕無の有樣にて現に米本國直物の大阪神戶渡し相場と西歐同地に於ける直物取引相場とを比較する時は[illegible]取引相場は非常なる下鞘の値を生じ延來にありては殆ど相場立たず加ふるに本年に於ける米棉作付の二割強の減收にして本年の收穫一千二百萬俵に對し二百萬俵の減收を示したるを以て從つて需要に對する供給不足を告げ殊に大阪に於ける當業者は[illegible]九月頃迄に於ける現物買收濟みなるに依り綿花は日々昂騰に向ふの狀態なるに綿絲は先程より著しく騰貴し相場は全く混亂狀態に陷り從つて直物の相場立たず從つて米ミットリング相場を發表する能はず延いて朝鮮に於ても目下相場の決定に迷ひ居る狀態にあるを以て結局目下の經濟狀況の混亂に際し相場の觀測容易ならず從つて來年の作付及び目下の出廻りに大なる影響を及ぼすべしと（大邱）

◎大阪財界便り

▲紡績操短細則 紡績聯合會委員會は十一月廿九日大阪ホテルに於て協議會を開き聯合會に於て協定せる操短一割六箇月案（一月より實施）に關し細則の制定及び特別に熟議したるが細則は十八條に涉り大體に於て紡績自營織布工場全部休錘を除外する事一工場の紡錘を他工場に振替ふる事を得ざる事にして制裁法は一錘二十錢の違約金を徵收し四千錘以下の會社は除外する事は前回協定の通りとせり

▲財界好調の兆 貿易方面の一方ならざる不振は稍恢復の兆現はれ一方人氣不振の爲め株式募集を手控へたる新設會社が最近株式募集を開始したるもの三四社あり其他の新會社も漸次募集を開始すべく新事業方面稍恢復の兆あり而して綿糸布、鐵商其他の各市場の氣配も稍開けつゝあるが昨年末の鈍狀期に本年二三月の如く本年も略ぼ同一の市場關係なるを以て趨勢は月を追つて漸次に現に向ふべしと

▲人肥界の前途 人肥界は人肥の輸出禁止令發布以來內地需要側に於ては生產過剩を來すべき狀勢に暴落せん事を氣遣ひて一時に買控の有樣にて肥料側にては輸出禁止を除せられん事を運動せるが何等の好影響を市場へは與へず人肥界の前途に關しては米價昂騰其他穀類の高價による地方農家の購買力旺盛なる折柄需要も悲觀すべき材料を發見する能はざるべく前途需要期に入らんか同界は活況を呈すならんと觀測さる

▲石炭市況強合 石炭市況は十月初旬以來九州炭坑一噸安く川渡し百二十圓二等炭百十五圓の焦階にて保合居たるが昨今需要期なるに山元の貯炭量少なく然かも運賃の昂貴と相俟つて出廻り薄く石炭は相當にあれども前途は十二月一杯の期限切れによる新契約見越しなどあれば所謂引締りの成行を辿るより他なきものゝ如く觀測されつゝあり（大阪支局）

◎米穀檢查狀況（三）
總督府技師 綾田豐氏談

前年度に比し二百十二圓二十錢の增加を示せり

檢查上を先づ總論として以下各論に入らんに、第一に予の注意を惹けるは包裝用の叺に不良品の多きことなりき、無論朝鮮產、內地產共に良品も無きにあらざれども其

▲良否の步合 は始らく措き、不良品の甚だ少からざるを見たり、一般に內地產叺として[illegible]良品なるが如く信ぜられつゝあれども佐賀縣方面より移入されたる叺は、縱繩二十八筋（普通は十二筋）にして製造甚だ粗惡なるのみならず、容量も亦四斗俵としては少しく無理なり、攝津[illegible]所產の叺にも不良品あるを見受けたり、朝鮮產叺も優良品は產地及び其附近沿線に於て消費さるゝと思しく、京義沿線に出廻はれる叺は品質甚だ劣り、予の記憶に存するもののみにても大田[illegible]印鳥山の背ウ印等は

▲穀物包裝用 としては不適當なるを認めたり、予は宜川に於て一鮮人の粗惡なる叺を使用せるを見て其價格を問ひしに、十七錢五厘なりと答へたるが、全南榮山浦の一等品を購入して宜川に送らんか、代價、運賃等を合せて二十錢五厘即ち十三錢の差のみ若し夫れ二等品を購入せば、一個十九錢にして、一錢五厘の差あるに過ぎず、今右鮮人の使用せる十七錢五厘の粗惡品を用ひて內地に移入すると假定せば、船車輸送の途中亂俵を生じ、其下關に著する頃には若干量の差し米を要求さるゝに至ること必定なり、而も其差し米たる叺代に於て

▲節約したる 一錢五厘乃至三錢の端數を以て償ふを得ば、寧ろ僥倖と云ふべきのみ、故に予は[illegible]良品を產出し能はざるものと認め居るらしくも思はれたり然れども若し良品を購入せんとならば榮山又は

▲榮山浦等に 注文せば容易に所要を充し得べし、榮山方面にては今期收穫の藁を以て叺二百萬枚を製造すべく意氣込み居れり、又榮山浦にては二三十萬枚程ならば何時にても注文を引受けんと、農民等は進んで予に答へたる者あり、隔りの地より直接供給を受くの便宜少く、且其取引方法に馴れざるに依り、北鮮地方の穀物業者は須らく注意を加へ、便宜を與ふべきなり、次に京義沿線方面所屬の藁は收穫の失れよりも其質劣れり、成程南鮮の收穫期に後れながら收穫の時期に依りては叺の原料として使用に堪へざるにあらず

▲內地に於て も、雜用の藁と細工用の藁とは收穫期を異にせり、朝鮮にては榮山浦等に於て細工用の收穫期に留意し居る外總て雜用も細工用も同時に收穫しつゝあり、斯ては然なきだに脆弱なる藁が一層粗剛にして用に堪へざるは當然なり、予は西鮮地方に於ても、內地種の出の藁は適當なる時期に收穫せば十分其用に堪ふべきを信ず

露西亞 何故混亂するか（七）

⦿ツアールが無くては治まらない露西亞と、その宗教（3）

○これから推論を進めて行けば、要するに露西亞はツアールの國なのである、少なくとも常にツアールを持つてゐて、その指令を受けべき國民なのである。それが內的に見て大多數のその種の國民を持つ露西亞、即ち現下の露西亞にして、何れにしても無かるべからざるものである。

○しかるを、少數の知識階級の理想主義者、乃至西歐主義者によつて、反省なく、顧慮なき近時の政治、及び政會政策は斷行せられたのである、然も彼等の爲す處は、一國の國民的生活に根帶を置いて居る所のものでは無いのである、內心に徹してゐないのである、此處に於て當然の命運として矛盾と混亂とがやつて來るのである。

○勿論ロマノフ家の滅亡は、寧ろ一個ロマノフ家の爲には、ペートルの失政？とも云はるべき急激なる『上よりの革命』に因して醞釀を促進せしめられたのであり、國民より見るも、勢ひ移入的の西歐との交涉に伴つては、累せられて、この破綻をなすに到れるも、時なり命也ではあるが兎に角、この多事に際しての必然に混亂すべき露西亞の運命を、彼等のために悲しむも同情せざるを得ないのである。

○吾人は何故此處に、再び露西亞の百姓の性狀を瞰り、常にツアールの乃至旦那を持つてゐなければならない露西亞について考究を進める（あきら生）

人事消息

△靑木農務課長 一日午前釜山より歸京
△賀田金三郞氏（實業家） 二日午前發東京へ
△エロイス氏（京城駐在英國領事） 一日午後長湍より歸京
△中村辰五郞氏（中村組支配人） 二日朝內地より著釜直ちに京城へ向ひたるが天眞樓へ投宿の筈
△久留島武彥氏（文部省囑託） 二日朝退京
△中谷孫七氏（大阪實業家） 二日朝入京天眞樓へ
△竹山勝平氏（大連鐵業家） 同上

◎田中運輸事務所長視察

鐵道院西部管理局下關運輸事務所長田中興吉氏は一日午前釜山著港灣並に連絡貨物陸揚荷役狀態等を視察し二日午後歸關の筈なり（釜山）

◎新入營兵著發

一日午前釜山入港御用船天長丸にて新入營兵八百十餘名上陸午後五時發臨時列車にて平壤に向ひたり（釜山）

◎黑井中將通過

旅順要港部司令官黑井第二郞中將は內地より歸任の途次二日朝南大門驛通過北行せり

◎軍司令官歸任

內地出張中の松川軍司令官は竹內高級副官を隨へ二日午後八時五十分釜山驛著列車にて歸任す

戰ひの跡を巡りて
商議新議員を訪ふの記

長い間市中を賑はせた京城商業會議所評議員第二期總改選も滯りなく濟んで一級及び二級から選出された新評議員が内鮮人合はせて三十名出來た

◆二級選では　有權者總數八百五人に對し投票總數六百七票で内無効の投票は三票に過ぎない一級では有權者總數二十八四十票で不在の者を除く外は棄權者も

◆無効投票も　なく立候補を宣した者の總てが當選と云ふ有樣だつたが二級の如きは私んど新議員で當選は内地人三名鮮人二名に過ぎない、一級戰は其の票數が少ない丈けに

◆各候補者間　の切込みも少なかつたが二級戰では票數も可なり多く而かも立候補を世間へ發表せずして暗中飛躍を唯一の武器として奮鬪した樣な策士が多かつたので其所に大きな

◆番狂はせを　生じ二級選擧者中には甚だ意外の感を一般に與へる樣な人名を見受ける樣だ今回の選擧戰が案外平靜を裝つた大體に於て終始した丈け其れ丈け戰の跡には樣々な悲喜劇を產出し分を以つて東奔西走我こそは中原の鹿を射止めんず運動振り凄まじかりける有樣であつたが今は跡訪ふ術もなく市中は靜かだ

☒凱歌の反面には痛ましい

沈默が續いてる樣である戰の跡其れは何所も同じく靜かであつた今度二級から出て七十六票と言ふ一人飛び離れた得票を示し凱歌を奏して本陣に引揚げた高島君を訪れて見ると

◆得意滿面に　漂へながら『いや有難う何しろ私達は他の方の樣に何々商組合と言ふ樣な團い地盤とするに足る樣な團體を控へて居る譯ではなし始めの内は非常に心配しまして立候補を斷念し樣かとも思ひましたが

◆男兒が一旦　名乘りを高うして立候補を宣言した以上一票二票の得票で討ち死するとも最後迄は戰はうと思つて非常に努力しました。所が結果は實に意外で此所の商業會議所始まつて以來のレコードを

◆破つた得票　で他の方々にも御氣の毒な樣な感がありますが……議員として立ちました上は別に抱負だとか言ふ六ケ敷い事は持ちませんが飽く迄眞面目に誠意を以て努力する積りです……』と意氣

◆正に衝天の　勢ひであつた今回脆くも敗戰の憂目に遭つた池田君や鍋島君等は投票の際に非常に樂觀の態度を採て來た人達である本町二丁目の時計商田中君等は

☒何した飛躍振りだつたか

佐藤君や增田君等の地盤に猛烈にも食ひ込んだらしい三十四票の辻本君若松地君二十七票の土井君等は除り始めから名乘りを高うしては居なかつた樣だが

◆其の策戰が　善かつた故だらう非常に優勢な地位を占める事が出來た總じて戰のあとは忙しいものと見えて新評議員の面々を訪問して見ても殆んど總てが不在と云ふ有樣、本町の紙文具商篠崎君を訪れると店員の一人『主人は今日は

◆朝から外出　しまして夜十時頃に成らなければ歸つて來ないかも知れません……』と忙しさうな商買片手に物語つた、同じ本町筋の藤富君を訪れて見ると此所も主人は不在店員の一人は算盤をはじきながら物語る『主人は何所かへ遊びに出ましてまだ歸りません……何あに私達は

◆選擧等には　一切關係りません元來が反對ですからねえ』と主人の悅びを他所に見て一心に算盤をはじいて居た同じく本町二丁目の藥種商古城君を訪れると『いや態々有難う……私は商業會議所には

◆殆んど十年　も關係して居るのですから別段變つた感想もありませんね……左樣ですね此頃會議所の評判が惡いとは承つて居ますが何も此所ばかりの事でもなく會議所は中々やり難いのです……其れかと言つて現今ト

☒會議所の改善を圖る名案

もンだ所がない樣ですねハツハ『こゝ』と笑つて居た自分が今度當選するのは當然だと言た樣な香氣さである其他の議員連中大部分此日は外出

◆何れ當選の　御禮にへも出掛けたのだらう戰の跡の靜かさも昨日迄も今日迄も互に緊張した氣

◉三麥酒會社の値上

大日本麥酒、麒麟、兜の三社協定して一日より大瓶四打、小瓶八打十八個に付き二圓の値上を爲せり（大阪特電）

◉瘤を切開した石塚總裁
經過頗る良好

瘤を切開した東拓總裁石塚英藏氏は總督府醫院西一號の特別室にベツドの上でニコ〳〵し乍ら語る『予の左背部の瘤は七八年も前にデキてゐた、然し別に苦痛もないから打捨つてゐた、唯年々大きくなる傾向があるので、今冬ゼヒ東京で手術を受ける積りだつたが、今回南北滿洲漫遊に出掛けて京方面に長い旅行をしたため、段々すれて痛は大きり、膿はいくらか深部に入り込んだと見ね、京城に來ると俄に發熱した、二十六日切開を受けた時は三十九度もあつたさうだが、今日（一日）漸く熱三十六度何分の平熱に下つた、ナーニ大した事はない、二三日で退院するよ』そこに芳賀博士が來る、總裁は博士に『大した病氣と思ふ人もあるらしく見舞が多くつてね』と云ふ、博士は『僕は反つて御無沙汰してゐる……』ア、來て見ねば分らない、博士が一日に何回も見に來ちや好い、大病のやうな氣がする……からなア……』と總裁は苦笑してゐた、其の間に一合夫人の見舞客がかへる、吉田東拓參事が書類を持つて來る病中の總裁も枕頭の夫人も倖な御多忙のやうに見ねた

春の用意　―障子張り―

虎を殪す迄
=岩を鑿て狙擊した=

我々は端川郡新謀面寺洞を宿營地として每日未明に起きて山に登り岩を鑿つたが三日間續つても到底見込みがない、風は強く寒氣は猛烈に激しい、虎は終日洞窟の中で唸つてその咆哮の聲は山谷に震動する、多年獵に從事した私も實に物凄い感じに打たれて一頭の虎を獲るのに

=怎んなに大慾=　怎んなに苦心した事は殆んどない、顧つて來た人夫ども、根氣よく苦心して呉れたと云ふ始末で、然し目的は死んでも達らねばならぬ一念で勢子や人夫は他の方面に出動させて、只一人で人夫を澁きして作業を進めてゐると二十日の正午頃やつと虎穴に通ずる直徑二三寸の穴が明いた、穴を透して洞窟をのぞくと中は眞暗で

=擊止める術も=　ない、止むなく其日は山を下りて翌日は早朝登山して先づ封鎖した洞口から長い竿の先に炬火を點けて洞窟中にさし込まうとしたもので元來虎は火を嫌ふ動物で仕方ないでも火を見ると逃げて了ふ程であるから炬火の光りに驚いてだん〳〵後退り遂ひに私の狙つて居る穴の下まで來て一寸蹲くまりを上げたので時分は宜しと一發放てば

=轟然たる響は=　洞窟中の空氣を震撼して巖石も崩るゝかと思はれた、遂に虎は斃れた、そこで私は人夫に洞窟中に入つて虎を引出す事を命じたが人夫は膽を潰して入る虎じやあるまいか、いや強て這入らせるなら一同歸つて了ふと言ふ始末に私もホト〳〵閉口して、彼等の見てゐる前で又一發、虎の頭を目蛯けて擊ち貫いて見せたのでやつと安心し喜と言ふ人夫が穴に這入る事となつた、虎穴と言つても

=直徑二尺位ひ=　であるから肩を打ち頭を打つた事でせう漸く二十尺も深い穴の事故隨分氣味惡かつたに違ひない、繩を虎の頸に縛りつけ引揚げした時は流石に顔色蒼然として其場に踞まつた、私は斃した虎を衣〳〵と運發した時は更らに三虎を追跡しやうとしたが其時憲兵隊から山本氏一行が二十六日に新昌に到着するから山を下れとの注進があつたので一昨日虎を擔つて新昌に到着したのです（をはり）

◉債券代金七百餘圓を橫領

全北群山府町所在明治公債株式會社群山出張所主任王田果方に昨年十月より雇れ債券の販賣集金等に從事中なりし柴田五一郎（二）は文書僞造詐欺等前科數犯の曲者にて是迄十九年餘監獄に繫がれしが出獄後昨年十月より本年十一月迄に二百十餘名より集金したる債券代金七百四十七圓餘を悉く横領し遊興に消費し規定の賬簿に……群山警察署の手に逮捕さる

◉取締役拘引さる

大阪五十八銀行常務取締役木下政次郎（五二）は拘引されたり（大阪特電）

◉列車に挾まる

三十日朝京元線高山驛元山驛等の貨物列車入換作業中同驛々夫林某が貨車の連結器取扱ひを爲さんとて飛び込みしが其の刹那貨車の聯結器に右背を挾れ人事不省に陷り應急手當を施し盛生せり且直ちに列車にて元山に送り府立病院に於て加療中なるが生命危篤なりと

◉前額部を突く

京城黃金町七丁目鄭萬方同居鄭萬重（二〇）は十二月一日午後十一時半頃自宅にて小刀を以て前額部を突刺して自殺を企て一時人事不省に陷りたるより發見、官醫駆付け檢視の上京城府に引渡したるが原因不明

◉恐るべき炭酸瓦斯中毒
京城專修學校生徒夫妻の窒息

京城諫洞五十七番地金昌一長男京城專修學校生徒金相奎（二〇）は一日午後十時頃妻鄭姓女（二）と共に居室に就寢したるが二日朝に至り兩名共容易に起き出でざるより兩親が怪しみて相奎の室を開き見たるに兩人共顔色蒼白になりて絕命し居るを發見し大に驚きて最寄巡査派出所に屆け出でたり鍾路警察署より係官警察醫と共に出張し應急手當を加へし爲め鄭姓女のみは稍蘇生せしが頗る危篤の狀態にて倚引續き手當中なるも相奎は全く縡切れ居たり原因は前夜就寢の際温突焚口に多量の煉炭を差入れ置き其の儘寢に就きたるに其の發生瓦斯が風の爲め穿たれたる温突の破れ穴より悉く室内に流れ込み室内は全く濃厚なる炭酸瓦斯を以て充滿され遂に瓦斯中毒に陷りて窒息するに至りしものゝ如しと檢視の上屍體は家人へ引渡さる

八雲琴（三）
（淪落の女の末路）

繼續を賴つて救濟を乞へば華族たる腹違ひの兄は現に東京で有福な生活をして居られる然し實母が臨終の際の遺言に縦令どの樣な事情があつても斷じて某華族家を頼つてはいけないと云ふ事を云はれた樣である戸籍面にも

▽養家の質子　となつて居るし何一つとして聯絡を證すべき實父の遺品も渡してなかつた只Aの養育費として數千圓の金が養父の手に渡されたのみなのだ此非常の場合だから養家に救を求める術も知らんではない然し父母より退學を命せられた時Aは乾度苦學してでも卒業してみせますと言明した態度がそんな強情を張つても到底苦學等で卒業は叶はぬから會社員にでもなつて

▽養家に補助　せよと迫つた時も卒業して一人前になつた後立派に恩義を酬いますから今は御言葉に從ふ事は出來ませんと振切つた事もある斯かる事情がある

▽博士の書生　にKと云ふ青年があつて此れも矢張り苦學生の一人でAと同級の友人である通學せぬので何か纏つた事でもありはせぬかとの老婆心から或る日Aの陋屋を訪づれたそしてAの此の悲慘極まる境遇に同情して持合せの金を惠んで歸つたが其晩Aの話をいさ子にして聞かせて博士の助力を仰ぐ樣に盡力して呉れる樣賴んだのである

ので同じ東京に居る義理の兄を訪づるゝ事も叶はずさらばとて今更養家に泣き付く事も叶はず病軀を持するに藥價なく滋養を攝るには貯蓄なく病苦と貧と

▽悲痛と煩悶　とに今は最早や自殺せんかと迄決心した然し彼は強かつた養父母に恩義も報せず且つはあれ程云はれた繼母に對する意地としても自殺等どうして出來るものか命數つきて死すれば知らぬ事自殺等は斷じて男子の業ではない此上は唯運命に任せる外はないと觀念したのである嗚呼神は果して此の可憐い青年を殺すだらうか……杳々彼の強い

▽正しい心根　に神も感じられたか茲に思ひ懸けない一名の救濟者が現はれた其救濟者は誰あらう本記事のヒロイン結城いさ子であつたいさ子は當時實業家の孤兒で幼時父母に死別した爲め其伯父にも當る某博士に引取られて養育され當時東京の某女學校に通學して居たのである此の

◉訂正　前號朝刊第三面『基礎工事の大半を終つた總督府新廳舍』と題する記事說明の中五行目の『上段』及び六行目の『下段』は大正十三年度末に於ける竣成後の豫定圖』を削除す又八尺は八分の誤り

おくらべ下さい　ちゝぶやの銘仙と　其他店の銘仙を　其の糸質と　そして其手ざわりを
▣本場物でない銘仙はまざり物がありますから手ざわりが堅う御座います
▣手ざわりの堅い銘仙はいたみが早く一度洗張するとめつきり品物が惡くなります
▣ちゝぶやの本場秩父銘仙はまざり物がありませんから手ざわりが柔かで御座います
▣手ざわりの柔い銘仙はお召しになつて丈夫で工合よく洗張すれば却て良くなる位で御座います
▣目下きばつて面白い
▣半額割戾し大賣出し　例年好評を博したやり方で十日目毎に一日御買物が半額になる日が御座います
京城本町　ちゝぶや　電話八九〇番

商業登記公告

株式會社漢城銀行ハ大正六年拾壹月貳拾五日大田郡大田面本町壹丁目壹番地ニ支店ヲ大田郡大田面本町壹丁目五拾貳番地ノ壹ニ移轉シタリ

東京建物株式會社取締役[illegible]ハ大正六年拾壹月拾四日其住所ヲ東京市牛込區市谷仲之町六拾番地ニ移轉シタリ

[illegible]

右大正六年拾壹月貳拾六日登記

[illegible]

京城地方法院

商業登記變更公告

株式會社漢城銀行水原支店大田支店住所ヲ大正六年拾壹月拾五日忠清南道大田郡大田面本町壹丁目五拾貳番地ノ壹ニ移轉登記ス
右大正六年拾壹月參拾日登記
京城地方法院水原支廳

◉移轉廣告
今般長谷川町（南方通）七十五番地に移轉致し從來の通り診療に從事致候
電話六七五番　松岡醫院　松岡信七

丈夫で安い實用靴　ボックス革製
編上靴　甲四圓四十錢　乙三圓四十錢
深ゴム靴　甲四圓七十錢　乙三圓七十錢
半靴　甲三圓九十錢　乙二圓九十錢
御注文の節は足袋文數と種類御申越あれば代金引替小包で送る
陸軍御用　東京牛込肴町六〇　ツブク靴店

十二月三日より　同三十日迄
確實なる　歳暮大賣出し
景品　は澤山で然も呼聲計りでなく誠意ある品物を萬遍に差上げます何時も唐川は是で成功して居ります
見切品と釣切　は安物を安く賣るのでは有りません眞に價値ある品計りを見切つて確かに御安く賣ります
景品目錄
三方桐重子箪笥　綴れ織座蒲團　鏡臺
銘仙　羽二重肩裏地　火鉢
其外景品澤山にて空籤は一本も有りません
御買上金一圓五十錢につき一本
京城明治町　唐川呉服店　電話二六一番

信用ある東京三金の靴
ボツクス革製編上靴　第一號　金四圓五十錢　第二號　金五圓五十錢　第三號　金六圓五十錢　第四號　金七圓五十錢
ボツクス革製短靴　第一號　金四圓五十錢　第二號　金五圓五十錢　第三號　金六圓五十錢　第四號　金七圓五十錢
ボツクス革深ゴム靴　第一號　金五圓五十錢　第二號　金六圓五十錢　第三號　金七圓五十錢　第四號　金八圓五十錢
革見本寸法用紙付目錄　送呈
以上の均一靴は精選せる材料ご熟練な技術を以て最も入念に製造せし品なれば一般紳士用として好適の品なり
御注文の節は足袋文數御通知あれば代金引換小包にて送料實費附で御送附す
東京市芝區愛宕下町　三金高等靴店　電話芝六九〇番

◉至急採用◉
代理店長（各地に代理店ヲ設置シ）
駐在社員（又駐在社員ヲ置ク）
右相當信用アル方ヲ高給（此外手當歩合ヲ給ス）ニテ採用ス希望者ハ返信料封入照會アレ規定書營業案内送ル
營業科目（帝國公債勸業債券現物賣買及擔保貸付）
福岡市馬場新町　資本金貳拾萬圓
報國勸業株式會社　電話一〇〇三番　同八〇〇番　振替口座一二三〇二番

珍菓　金剛山　大賣出し　景品進呈　壹千箱限り
京城本町　㊂　龜屋　電話二十七　四七五番

◉中央塔より
拾得物揭示
分位の圓形小瓶一個を發見し瓶内に黑赤色の小石樣のもの入れあり……
上去十月三十日同面院下北狐峴なる坂路に於て通行人陳允浩を引……院の公判に附せらる

◉暴風警報（十二月二日午後……）

釜山入港新羅丸一二等客　一等（四名）萩野友助、辻仁作、田井良吉、外……
一日午後十時卅分釜山入港壹岐丸

課題及募集規定
□募集規程　▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事

天氣　くもり
曇り少雨後晴れ
十二月三日　日出　七時十三分　日入　五時十六分

[illegible]の尾根右下より此の弱網約二寸深さ約二寸の凹形白色金屬製の筒現れ更に其の中に硝子製直徑約七[illegible]

●不安定なる露貨前途
市場强氣は一時的＝前途は又々大下落か

變轉常なき露國貨幣も一時は露貨千留に對し金百圓と云ふ市價を生ぜしむる其の後少しく引戻して今は七百より八百迄を往來し、現今寧ろ强合みの氣配なるが、現在露西亞の國情と云ひ或は財政狀態等何れの點より推する前途景氣ならざる可からざるに何ぞ今日の金一百圓に對し七百六十留の市價を保ち居るやと云ふに露都混亂の結果は

▲日露貿易全く 杜絶の姿に陷り爲に露貨を買入るゝ必要の減じたるも一方八九百留亞の露貨幣を內地に持ち行きて現今各地の新聞に大文字に廣告し恰も確實なる公債にても買ふ如く云ひふらし盛に振り散き居れる等が因をなして常に長春市場に溢れ居たる留貨幣の減少を來せる結果斯くは市價持合となれるものにて尙一ツの近因とも稱すべき

▲爲替の出會を 保つべく哈爾賓の商人等は品物を買ふに先だち先づ長春市場に先物の露貨を買ひ置き、而してやがて物品の到買行はれ其の代金として得たる留を長春に持ち來りて先に買ひ居たる決濟に當て金を受取りて內地の決濟を成すといふ順序となり居れるに哈爾賓市場は昨今全く商賣行はれず同地商人は徒らに商品を拋て歎じ居る次第なるより目前に迫り來れる

▲月末の決濟に 豫定せる留の收入なき結果大いに狼狽し之れが決濟に充つべく俄に留買入を成せるより市場頗る强氣を生ずるに至れるなりされど此の決濟にて完了せんか混亂せる國狀と云ひ或は益々困難に陷れる同國の財政狀態と云ひ露貨の前途は下落と見るを妥當なるべく銀行業者の如きは一般に前途は頗る不安に意見一致し居るものゝ如し（二十八日哈爾賓）

●吉林製材事業
近來大に著目さる

東支線以北の混亂最中に引き換へ漸く邦人企業家の著實なる注目の的となりつゝあるは無限の寶庫と傳へらるゝ吉林にして其切に云へば今日に至りての著眼は當然と云はんより

▲寧ろ晩播きの 感なくんば非ず、最近に於ける母國中央各方面の名士にして滿鮮視察の頻々たる屢々報ずる所なるが長春を訪ひたる諸名士にして吉林を訪せざる者多き有樣にして中には吉林驛著車後僅々二時間の寸暇を捕へて主要情況を一瞥し直ちに上り列車に乘じて長春に歸る者の著しく多く猶數日滯在して稍々深く商工業界の現狀を探るの客は數ふるに暇なき程なり、されば同地の

▲主要事業たる 林業の如きは在來支那人の個人經營が主として行はれ居たる情態なりしが本年五月より大倉組の著眼する處となり同組も關係深き安東縣鴨綠江製材無限公司は製材分工場を吉林に設置する事となり直ちに分工場設置に著手し之れが落成に急ぎ居りしが來る十二月中には始業を成し得るの運びに至るべく製材機の如きも最新式を用ゐ大仕掛に進行しつゝあり故に愈々營業創始の曉には目覺ましき活動ある事ならん今長春に來れる吉林分工場員岩原氏の語る處に依れば安東縣なる同公司が現在取扱ひをる鴨綠江地方産出の製材に比して

▲割安に提供し 得るは元より、來るべき吉會線開通の曉には現在の如く單に南部沿線のみを顧客とするに止まらず、[illegible]開通に依つて必然到る所の吉林[illegible]築業に伴ひて生ずる各種建築用材の如き蓋し巨大なる需用を生じ前途頗る有望なりと（二十八日長春）

●東拓支店移轉

東洋拓殖會社大連支店にては今回近江町三十八番地中村病院の建物を買入れ明年一月匆々現在の西廣場より同所に移轉する筈なり

●奉天絲布商況

像て强氣材料の續出によりて市況漸騰せる綿糸布相場は終に二十六日の大阪電報にて現物三百九圓八十錢、先物三百十五圓四十錢、三品十圓八十錢の高値を報じ前途猶高騰氣配なるより久しく鈍狀を呈したる奉天市場も稍や活況を見るに至れり左れど需要方面は已に多物仕入の時期を過ぎたる事とて支那人は何れも見送の態度を持し更に謹愼出です市況は猶閑散を免れざるが一般支那商は過般の暴落により蹉跌せるに懲りて益々警戒を加へ商談は長期先物契約に非らざれば應せざらんとし折角活況を呈し來れる邦商側も當分絕望の外なき狀態なり而して綿布の前途果して騰貴を辿るに於ては目下弗々需要起り來れる春向品は相當の盛況を來す可く茲一二箇月間の綿絲布界は大いに注意を要す可しと

●南浦製革事業

鎭南浦の岡壽太郎の設立にかゝる製革工場は最早九分通竣成し已に機械類も十四日以來大阪より輸入到著し目下据付作業中なり來月中旬より事業を開始しクローム皮革の製造を爲すべしと目下生牛の屠殺數少くなりし爲め生牛の皮の出廻減少したるも同工場には已に六萬枚以上の牛皮を買占貯藏しあれば當分製品には支障なしと

●鴨江流氷盛ん

本月七八日頃一時流氷を見たる鴨綠江は其の後氣候溫暖なりし爲め殆んど皆無なりしが廿六日夕より寒氣加はり多くの流氷を見るに至れり然れども本年は比較的溫暖なる爲め例年ならば既に結氷の期なるも多分十二月中旬ならでは結氷を見る能はざるべしと

●大連より

○近來朝鮮と滿洲との關係が日に密接の度を加へて行く事は甚だ喜ばしい現象である尤も亞細亞の地圖だけ擴げて見ても朝鮮と滿洲が大陸の一小部分にコビリ付いて居て古來切り離れる事の出來ない關係を持つて居た事は誰でも首肯する事實だ

○朝鮮族が遼西一帶の地に蟠踞して盛んに經綸を行つた事もあつた兒に角兩々相離れ難き地勢に在る事は歷史の物語る事實である

○接近すべきものは自然に打棄て置いても遂に接密するが人爲的に其の接近を促すと接近する度合よりも增される者は變な感じがする兒に角他人臭い話でも長い旅から歸つて見たら九州から上陸した一族と[illegible]一するまでには時を合つ[illegible]

○鐵道の繼一ばかりではないこれから滿鮮兩地の凡ての經濟關係の利害一致するやうにならなければならぬ此の際兩地の實業家は宜しく互に交通來往して財界連絡の密接を企てる必要があらう（長城生）

●理想的の暖房裝置は　如何にすれば好いか　(2)

スチーム裝置は有毒瓦斯の發生を見ず且つ適當なる溫度と濕度とを容易に得らるゝから暖房裝置としては最も衞生的である、但し設備に多額の費用を要するを以て一般に使用されない此の

▲仁川に於て は唯一つのルテンの家に裝置してあるのみである、但し之は設備さへすれば稍大なる家屋に在つてはストーブを焚くよりも却て經濟的になるのでツーテンの家では每年一箇月四五十噸の石炭で事足ると云つて居るからストーブを十個以上焚くよりは餘程經濟である

▲大病院の 院長諸君は一つ暖房裝置として此のスチーム式を採用したら却て經濟的に一つは衞生的で頗る好いだらう、次にファーネス（空氣溫室法）は一箇所に於て空氣を溫むる裝置を設け此の溫められたる空氣を、筒を以て各室に導くもので仁川に於ては私立永化女學校にのみ此の裝置が施してある、設備はスチームよりは

▲安價に且 つ燃料もスチームより稍經濟なるが如く同校では約十室の保溫に費やす燃料一箇月三十圓位であると云つて居る、不良の瓦斯の室內に入る事もなく溫度も充分であるから乾燥をさへ豫防すれば極めて衞生的である

其の豫防法

暖房裝置より來る有毒瓦斯の種類及び以上の暖房裝置より來る非衞生的なる有毒瓦斯は其の種類種々あれども最も主なるものは炭酸瓦斯と酸化炭素の二つである、炭酸瓦斯は稍酸味を帶ぶる無色無臭の瓦斯で其の比重は空氣より重き事一、五二四倍である

▲石炭木炭 及び其他一般の燃料並に動物の呼吸に由つて發生するもので大氣中には〇、〇四％を含有し人類の呼氣中には四、〇％を含有して居る、而して多量の炭酸瓦斯は呼吸に於ける酸素の吸收を妨げ且つ炭酸瓦斯の排泄を遲滯せしめて有害である其の危害は一％に於ては未だ何等の症狀を認めないが已に二％以上に達すれば呼吸困難、頭痛、眩暈、嘔心、嘔吐及び耳鳴り等を起し稍長時に涉ると失神を來すものであるが更らに六乃至七％に達すると死ぬのである（仁川）

●三人組の兇賊

咸南永興郡大興面仁下里孟致乾（三）孟東華（二）孟福萬（二七）の三人は共謀の上[illegible]日にも同郡所にて進行中の[illegible]を捉へ所持金を強奪せんとしたるが同行の一人を毆打傷害したるが直ちに其筋に逮捕され咸興地方法[illegible]

●[illegible]全羅南北道の沿岸[illegible]記事進行[illegible]かにして經過後速かに天候恢復す可し

●連絡船上陸客　一日午前

[illegible]中川喜平・津川ふく・江川かつ・菜原貞吉・陸さめ・山下吉右・吉田竹治・きよう・小笠原若右衞門・丁桂泰・丁秀泰・李順南・小川つる子・竹内長一・中村甚左右衞門・名出吉一・中澤平作・山本末一郎・兒島信七・川邨たけ・同敬・同日秀・酒井うめ・浦字直太・若井正富[illegible]

二等[illegible]外人[illegible]名・志戸本大兵佐・木寺省[illegible]琢市・臆たけ・岡田貞之助・坂北要・堀池留子・北村與・城田繁平・岡野政次郎・宗田義一郎・北村奥次郎・許鋼はる・王春發・陳希孔・姜慈省・李[illegible]三等（六十三名）

[illegible]

おとぎばなし　地下眼鏡（下）

地下眼鏡を發明した松彥は、地下眼鏡で、ちよい〳〵地の下を覗きながら、その翌日、ある谷間へ通りかゝりますと、橫手の洞穴から、色の眞黑い一人の小人が出て來まして、

『もし〳〵、ちよいとお待ち下さい。』

と言つて呼び止めました。松彥は立ちとまり、

『僕に何の御用？』

『地の底の王樣が、あなたをお供して來るやうにとの仰せです。』

『ナニ地の底の王樣が？』

『どうぞ、かうお出で下さい。』

松彥は、これは面白いと思ひながら、小人の後に尾いて行きますと、小人は橫手の洞穴の中へ入つて行きました。松彥も續いて洞穴の中へ入つて行きますと、洞穴の中に、段々のついた穴が斜めに掘つてありました。

その穴が、地の底の王樣の御殿へ下りる入口でした。

小人は松彥を連れて、その穴を下りて行きました。そして半里足らず步きますと、向うの方へ、地の底のお宮が見えました。

『あれが王樣のお宮かね。』

『さうです。急いで行きませう。』

と二人は急いで間もなくお宮の門へ著きました。すると門の戶がギイーと開いて、

『どうぞ此方へ。』

と二人の小人が案內役！

松彥は間もなく地の底の王樣の御前に案內されました。王樣はやはり色の眞黑い小人ではありましたが、眩い程の綺麗な着物を著て金銀の首飾、金の冠を冠つて、金銀の椅子に腰を掛けておいでになりました。

『これ〳〵お前だな。地下眼鏡を發明したのは。さうだらう。』

『はい、私でございます。』

『ゑらい物を發明したものだ。地下眼鏡をお前が發明した上は、いくら金銀を匿さうとしても匿されるものではない。地の底の寶物を地上に出したくないのは山々だが、もう止むを得ない。此上は地の底の寶物を皆人間に與へるぞ。』

松彥は王樣が厭だと仰しやつても一々地下眼鏡で探し出してやる積りですから、皆人間に與へるぞとのお言葉は餘り難有くもありませんでしたが、元來地の底の金銀は王樣の物に違ひはありませんから、

『どうも難有うございます。』

とお禮を申しました。すると王樣は一枚の世界地圖をお出しになつて、

『これを取らせる。ちやんとこの地圖に、金銀を始めありとあらゆる鑛物の在り所を印つけてある。これさへあつたら、方々步いて探險するには及ぶまい。』

とその地圖を松彥に下さいました。

松彥は飛び上る程喜んで

『これは結構な物を頂きました。』

と今度は心からお禮を申しました。

王樣は松彥にその地圖を下さつて、奧の御殿へお入りになりましたので、松彥は又小人に送られて元の洞穴から谷間へ出ました。

珍しい世界地圖！！松彥に取つては、それが地下眼鏡よりも大事な寶でした。

白山黒水

▲支那人と朝鮮人とどちらが日本語に上達するかといふとは却々容易に決められる話でもないがこれに就いて奉天南滿中學堂の庶子生敎諭曰く▲私は朝鮮人の子弟も長く取扱つて見たしまた支那の生徒も敎育して見たが一長一短何れを上手とも言をあげ兼ねる▲由來朝鮮人は海に語學の達者なものとせられて居るが支那人と雖も敎授して見れば案外遜色が無い▲殊に支那人は總じて耳の鋭敏な國民で且つ一般に音樂趣味が普及して居るから假令發音はむづかしくとも耳の方からは早く覺る▲元來支那語系は朝鮮語の如く日本語と接近せず且つにをはや語調が朝鮮人よりは不便であるがそれでも頭のよい者になると遙かに偉い▲併し支那人が概して朝鮮人より劣ると思ふのは兩者學習の決心が異ふからである▲現に朝鮮に於ては日本語を識るや否やが直ちに個人の生活問題に關係するから學習者も亦一生懸命になるが支那では左程思はぬからであらうと（奉天）

●一代に百萬の富を作る決して難事に非ず

予が現に實行しつゝある利殖法
何人にも容易に實行し得る方法

株式會社富强世界社專務取締役　大迫利亮

▼金は誰にも出來る [illegible]

▼成功致富の實例を示し [illegible]

▼金の出來ぬ理由なし [illegible]

▼天下の富豪金持を見ると [illegible]

▼百圓の資本で百萬圓 [illegible]

▼一日五厘儲ければ宜し [illegible]

▼決して實行難に非ず [illegible]

▼今直ちに決心せよ [illegible]

▼百圓の元金を得る法 [illegible]

[illegible]

▼各地より御注文殺到　益々代理部の本領發揮▲

黒羽二重紋附地　三丈物五ッ紋　壹號 拾五圓八拾錢　貳號 拾八圓七拾錢　參號 貳拾壹圓五拾錢

羽二重大巾羽折額裏　イ 參圓八拾錢　ロ 四圓五拾錢　ハ 六圓五拾錢　別上 九圓參拾錢

千台平袴地　壹號 拾四圓五拾錢　貳號 拾七圓參拾錢　參號 拾九圓五拾錢

久米名仙縞（男女物廿歳位四五十歳迄）　六圓五拾錢

流行久米紬（同上）　四圓五拾錢

金巾裏地（花色 活色共）　特價壹圓六拾五錢

實用綿結城縞（大名柄種々）　壹圓八拾五錢

厚板丸帶（十七八歳より廿四五歳迄）（三十本限り 特價二十二圓）

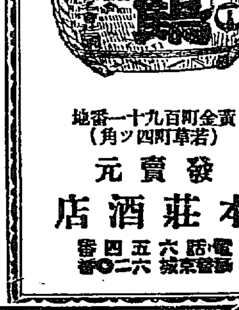
越後本節（絲織）　特價 九圓八拾錢

（以上送料各十八錢）

此の外珍柄何品にても取揃へ居り候
追而男女の別年齡、職業等御示し御申越被下候へば早速見本切送付可申上候

京城太平通　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部　電話（本社構內十八番）

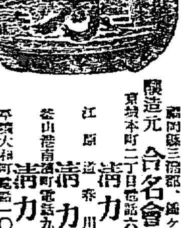
優等清酒



黃金町百九十一番地（若草町四ツ角）
發賣元　本莊酒店
電話六五四番　振替京城六二〇番

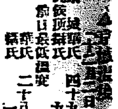
齒科　口腔科　外科專門
一般藥價及治療輕減
京城永樂町二丁目（播本印刷所前）
主任醫學士　日本齒科　近津義堯
チカツ齒科醫院

株式會社　朝鮮商業銀行
資本金壹百萬圓　諸積立金二十七萬餘圓
京城南大門通一丁目　電話五五八番　振替京城一六三四番
一般銀行業　倉庫業
銀行長　趙鎭泰　支配人　豊田明敬
南大門支店　本町支店　仁川支店　平澤支店　群山支店　東大門出張所



釀造元　合名會社清力商店
京城本町二丁目　清力京城支店
江原道春川　清力出張店
釜山港南濱町　清力釜山支店
平壤大和町　清力平壤支店

內科小兒科　呼吸器　胃腸病
外科　整形外科　內臟。梅毒淋病　婦人科　肛門病、皮膚、わきが
入院隨意
學生軍人　勞働者　藥價輕減
京城本町五丁目（稻荷座前）
大和病院
院長　醫學士　齊　勇
副院長　醫學士　小川清
副院長　醫師　齊豐次

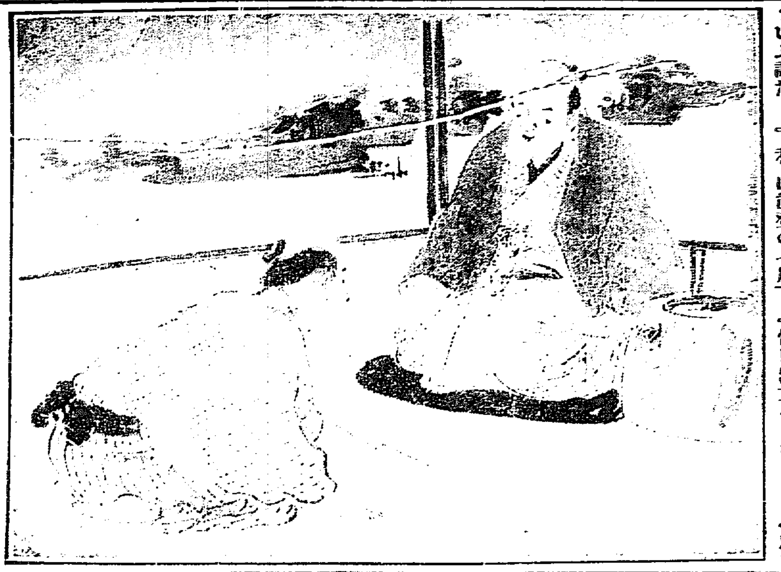


左甚五郎

第百一席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

瓢箪の九助は佐羽吉の家で働いて居りましたが、影日向なく正直を旨として勤め居る故主人も此者を愛し、昨日と暮し今日と過ぎ早や十箇年相立ちました、九助は主人吉左衛門の前へ出て手を挽へ 九『旦那様お願ひがございます』 吉『何だ九助』 九『他事でもございませんが、何うかお暇を頂かして下さいまし』 吉『永年勤めて居てくれて今急に暇をくれと云ふのは何う云ふ譯だ』 九『私は能登の七尾の生れでございまして、代々百姓でございましたが、親父の代に身上不如意となつて僅な田地ではありますが、他人手に渡し其中で親父が亡くなりました、恰當私が十八歳の時國元を出で何處ぞへか參つて奉公をして頂いた金子を貯め一旦他人手に渡つた田地を手に入れて何うか親父の家を立やうと思ひ、縁あつて御當家へ參り十年以來御厄介になりましたがお暇を頂き國へ歸り親父の家を立たいと思ひます』 吉『ウム』 九『年々頂きますお給金を旦那様にお預け申して置きましたが、其のお金を頂いて歸國をしたいと思ひます』 吉『俺も今まで多くの奉公人を置いて使つたがお前の様な正直者は無い、生涯居て貰ひたいと思ふけれど、然ういふ譯であつて見れば暇を遣らんといふ譯にも叶ん、暇は遣りますから早速歸國をして田地を受戻し阿父さんの後を立なさい』 九『有難うございます』 吉『お前から預つた金子は七十八兩ある』 九『左様でございますか』 吉『此金へ俺が足して百兩にして遣らう』 九『それでは恐れ入ります』 吉『今までお前が勤めてくれた禮である、さア此金を渡すから受取んなさい』 九助は右の金を押頂いて受け納めました 吉『何日出立をしなさる』 九『思ひ立つたが吉日とやら明日にも立ちとうございます』 吉『それでは然うしなさい、支度は出來て居るかな』 九『支度と申したところで、別段何んにもございませんが……』 吉『能くまア支度をして行くが宜い、然う云ふ譯であつて見れば、二度とは來られまいが、萬一國の都合でも悪かつたら又出て來なさるが宜い』 九『其時には又參りますから何分お願ひ申します』 吉『何時でも來るが宜い、吃度世話をして遣る』 九『有難うございまする』 其夜は寢んでしまひ翌朝支度を調へて主人夫婦の居室へ參り 九『左様なれば旦那様隨分御機嫌能く御暮し下さいまし、お暇をいたします』 吉『オヽ九助もう行きなさるか、少しお待ち』 と十兩の金を出して 吉『此の内五兩は家内と娘がお前への餞別、跡の五兩は店の者や出入の者からお前に呉れた餞別、是はまア持つて行きなさい』 九『是はまア大した御餞別を下さいまして有難うございます』 吉『その十兩の金を路用としたら國へ歸れやう、百兩の金へは手を附けぬ様にするが宜い』 九『何から何までお心付け有難くお禮を申上げます』 吉『萬一もあるまいが道中へ出たら萬事に心附けて、宿を出るにも成るは悠然立ち、夕は早く宿へ著く様にしなさい』 九『ハイ』 吉『本來なら二三里の處送らせるのだが』 九『何ういたしましてそれでは却つて迷惑をいたしますから是でお暇をいたします』 と九助は皆々に暇を告げましたが、腹巻には木綿の財布、紺の股引に半纏を著け、切緒の草鞋を穿き皮色の合羽、主人より貰ひました道中差を佩び、著替の衣類を風呂敷包に入れ此を背負ひ、笠を携へて立出やうとしたが、流石永年居つた主人の家を出兼ねて暫したゞめらひましたが、思ひ切して飯炊九助は[illegible]生の佐羽吉方を後にした。



新築落成

京城明治町一丁目
胃腸病院
入院隨意
院主 佐々木香造
電話一六三九番

外科一般 皮膚科
泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院
電話西一九番

軍隊毛布
嘗て市場に現れたる事無き善良品 先頃本社が提供せしロシア軍隊防寒用毛布の約束運を今度の暴風雨の爲倉庫の都合上更に五千組を短日に賣放ち茶鼠大判二枚續一組（無地）原價値なる一圓九十五錢で御註文に應ずれば此際至急（ハガキ）で申込あれ受付順に引換郵便で發送す 普通の店で五圓以下で買ぬ品
東京神田 東京織物仲繼店
神田振替東京七三四六番

暦 十二月四日 九星 舊十月二十日 庚辰 本命八白 取 大安
[illegible]

演藝案内

浪花館 新町二丁目
十二月二日
[illegible]

大正館
[illegible]

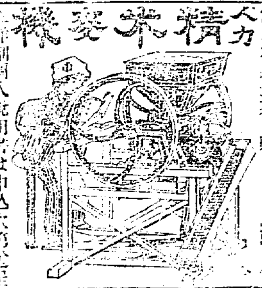
有樂館
[illegible]

黄金館
電話二二六三・二六六七
[illegible]

京城本町 壽館
電話一〇五〇
[illegible]

日本及歐米十三ヶ國專賣特許
胃腸最新藥
ヂアスターゼ
●食慾が進まない時に食慾を促す
●元氣が衰へた折に活力を與ふ
●貧血のものには血液を補給す
●精力の増進と體量の増加を促す
●現今醫學大家は胃腸の諸疾患に本品を最も… せらる
回説明書送呈
藥種問屋 合資會社 京城 東京本町 岡城商店

606
花柳病
外科專門
梅毒 淋病 痳病 婦人病 皮膚病 泌尿生殖器病 脚氣 胃腸病 ヒステリー 神經病
京城南大門通
司生堂醫院
電話三〇六番



人力精米機
製造元 大阪 西區
[illegible]

恩給年金…
[illegible]

あばた そばかす にきび
[illegible]

△廣告▽
てんかん
病で時々ヒキツケ困る方切手二錢送れば永年の病も自宅で無代進呈す 名古屋市南小川町 一救生

診察時間
初診の御方は可成午前中
自午前九時 至午後六時
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行東門前）
シメノウチ齒科醫院
電話八一二番

製造元とのやくそくで
砂糖、麥粉、鹽、金巾、寸、石油、洋蠟、
小間物、紙類、乾物、罐詰、ビール、サイダ
醤油、酒類、醬油、洗粉、足袋、其
他の日鮮人向雜貨食料品
値の安い品そろいの
大おしろ店 仁川本町
河野本店 電話二一八番 振替京城二二番

內科 胃腸病
診察時間 午前九時…
京城本町一丁目
石川醫院
電話一一七一番

大日本優等清酒
品質純良 衛生無害

澤の鶴
本家 攝津灘御影町
嘉納合名會社
京城本町二丁目拾番地
發賣元 前田酒店
電話一三七番 振替口座四二五番

開院
肛門病 痔疾 專門
入院隨意
京城 久枝肛門病專門病院
院長 久枝秀喜

醫化學藥品諸器械
K
京城本町 北島藥店支店
電話七六一番

藥種賣藥卸商
仁川本町 北島藥店
電話三二四・振替京城六七番

産科 婦人科
京城壽町
醫學士 二宮亮吉
二宮醫院
電話一二〇一番

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社 十八銀行京城支店
京城黄金町 電話四二〇番・五八〇番 振替貯金口座京城八四番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

(Patented in Japan, Great Britain and U.S.A.)

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS.

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS. 120 Drops in a bottle ...... ¥ 1.40
MITSUWA COMPOUND COD-LIVER OIL DROPS. 100 Drops in a bottle ...... ¥ 1.40

Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops are round-candy drops of small size, fragrant and pleasant to the taste. Each contains a guaranteed amount of one gram of Cod-Liver Oil. In its nourishing quality, taken without taxing the stomach, taken in so small a size, the Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops far surpass any other cod-liver oil preparations on the market.

Mitsuwa Compound Cod-Liver Oil Drops differ in that they contain one-half amount of Cod-Liver Oil and are supplemented with the effective element of iron, phosphorus, lime and quina.

▼甚しき臭味を忍びて、肝油を飲用すべき時代は去れり▲
▼咀嚼して美味無臭、容易に定量の肝油を食用し得べき▲

本邦及英米國政府專賣特許滋養强壯料
河合龜太郎氏創製

ミツワ肝油ドロップス

◎肝油ドロップス
肝油含量一顆一瓦にして麥芽糖及可溶性含窒素物を以て成る滋養强壯料なり。

◎複方肝油ドロップス
肝油の含量を半減して、有機鐵・有機燐及石灰、規那等を含有せしむ。

肝油含量一顆一グラム 一日二回乃至三回服用
五歳以下 一回一顆乃至二顆
十歳以下 一回二顆乃至四顆
十五歳以下 一回四顆乃至八顆
大人 一回六顆乃至十五顆

用法 普通菓子の如く食すべし、又は鐵を以て細片に割り溫湯にて嚥下にするも妨げなし
定價 五十顆入一壜金七十錢 百二十顆入一壜金一圓四十錢 地方は…

肝油が一般の虚弱者、腺病質者、結核性素質者、營養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對し、治療上缺くべからざる滋養劑として、內科、眼科、小兒科等の醫家に處方せられ、卓效を奏するに、醫療上の定論なり、然れども其特有の臭味、甚だしく不快なるが故に、其服用を嫌忌せらるゝを慨し、河合氏多年苦心研究の結果、形狀洋菓子状の「肝油ドロップス」を創製す、本品は從來の肝油諸製品に優り、服用に頗る便利なる手數、携帶の不便、變敗の迅速なる等の缺點なく、殆んど本質の肝油たる事を忘れ、兒童は勿論何人も好んで食用し得ると、酷暑の候と雖も冬季と異る事なく、消化吸收の作用頗る良好なる事とは、本品の最も優秀なる特色とする所なり。

▼如斯人は滋養料の肝油ドロップスを用ふべし▲
一、顔の色が蒼白く、腺病質なる人
一、皮膚の紋理が麁く、ザラ〳〵して居る所謂あれ性の人
一、身體一般に貧血してゐる人
一、是といふ病氣はなくても何と無く弱く病氣に罹り易い人
一、筋肉の目立て痩せてゐる人
一、手足が冷て眠られぬといふやうな衰弱い人
一、色が蒼くて肉痩せ、而して活潑ならぬ所謂腺病的の小兒
一、頭が細長く、頸が細長く、痩せ、扁桃腺や鼻の病より多く出る所謂結核素質のある人
一、筋肉を太らせ、無病壯健に、元氣よく活潑せんとする人
一、身體一般に脂肪氣の少き人
一、頸や手足を滑にしたき人
一、産前産後病後の滋養を計らうとする人
一、骨の故障即ち佝僂病骨軟化其の他骨病ある人
一、營養不良から來れる眼病例へば夜盲症や結膜貧血に罹れる人
一、腺病（瘰癧）に罹れる小兒
一、右の外種々の病に罹つてゐる人の滋養物として理想の良食物である

ミツワ石鹸
ミツワ椿油
ミツワ家庭藥
規那鐵葡萄酒
肝油ドロップス
發賣元
登録商標 ◎
東京市日本橋區橘町四丁目
藥種、化粧品、石鹸、香粧品、小間物問屋
丸見屋商店
電信略號〇ミヤ 振替貯金口座東京七一〇番
營業部電話浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

汽車
京釜線（南行） 同（北行） 釜山連絡 馬山線 京義線（北行） 同（南行） 京仁線 京元線（北行） 同（南行）
[illegible]

京城日報
三日朝刊 (朝夕刊併せて八頁)
第五版
本紙定價 △一部金二錢五厘 △一ヶ月金五十錢 △郵稅一ヶ月金十五錢 △三ヶ月分前金 ……
廣告料金 △五號十五字詰一行金 …… △七號 ……
發行兼編輯人 奥田直 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話番號 …… 振替貯金口座京城三〇〇番

……二十七日の市中金融は一段の活氣……[illegible]……九萬圓を増加し……[illegible]……同時に發行……[illegible]……を加へコールは翌日拂五六厘無……七厘月越二錢四五厘にて取……多く又割引日步は普通最低一錢……厘五毛に保合ひたるも氣配到て……

▲相競ふて高値 時代……[illegible]……現は五月以降……社、問屋の先約は……れ下半期間の取引値段は會社により各々相違あるべきも平均十六……

▲二割乃至五割 ……率は前期に比較し平均……方の增收と推測せらる收益率の最も大なるは本期間細絲の特に活躍目覺しかりし……

▲本期配當豫想 ……和泉紡績の如き頗る好成績を示しつゝあるが如し(大阪發)……たるあり是等の情況を基礎として……をするに先づ東洋紡績は前期より五分增即……

◎毛斯綸は好況 三品市場の好勢なるより各種織物も補充買なる活況を呈し最近……下に引下げ輸出に依つて不能主の消化を爲さしめんと唱ふるものあり、しかし政府は濠洲羊毛の分讓問題を苦慮する餘り毛織物の轉出を好まざるが如き傾向あり……營業者も……十七錢先物六十九錢と四五錢方上……八九錢方奔騰し赤白番の如き現物七十二錢……在荷拂底し大口の取引無く先物取引も資物絕無の模樣なれば更に活動を呈すべきも八十錢相場の現出……

……▲進行方向 東 ▲警戒區域 慶尙南北道 ……沿岸 ……▲記事 降雨……

支那漫遊

黃鶴樓

蘇峯生

黃鶴樓を訪ふ。本日は昨日に踵て打晴れ、珍らしく清潔なり。とも砂塵なれども臭氣紛々、殆ど鼻を著くるに地なからんとす。先づ元代の大理石喇嘛塔を見、黃鶴樓に上る。此の附近乞食にあらざれば、人相見、寫眞屋の巣窟にして、殺風景極れり。されど如何なる人力も、天然の形勝を滅絕する能はず。其の眺望は、實に絕佳也。第一革命の際は、漢陽の大別山頭に砲列を設け、漢口を攻擊したりと云ふ。今は南方蜂起の際にて、此地も戒嚴令を施し、大別山には登臨を許さずと云ふ。然も大江を隔てゝ相對し、其の面目約略排す可し。詩あり、

革命功成群小雄。西南殺氣滿長空。登臨欺罔神禹業。我付江流日夜東。

武昌の蛇山、漢陽の龜山、即ち大別山とを中斷して、大江を疏通したる神禹の功は、及ばずもがな。若し南北一統の人物にて、出で來らば、四萬々の生靈を、若干其の惠に浴す可きに、議論商賣、紙筆商賣にて、其日暮らしを事とする群小政治家には、誰れしも閉口ならむ。

大正六年十一月三日午前七時漢口にて

漢口の兵營

揚子江を下りつゝある汽船大福丸客室より啓上。昨年の十一月三日は、朝鮮に於て、往復四十里の驪州行をなし、本年の十一月三日は、漢口に於て見物をなす。然り十一月三日は、可なり多忙の日なりき。午前には橘三郎君の案內にて、我が駐屯軍兵營を訪問せり。兵營はレース倶樂部に隣接して、二萬幾千坪を占むる地面の上に、赤煉瓦にて建築せられ、曾て旗竿と稱せられたる、無線電信柱は、高く其中に聳立せり。司令官々舍の庭前には、樹木叢茂たり。而して芭蕉樹の如き、今尚ほ性青々たり。數年前の荒蕪したる畑地が、此の如く急激の變化を遂げんとは、我も人も前知せざりし也。現時の司令官は神頭少將にして、其の經營は、興倉司令官時代に成りたるもの多きが……[illegible]……と云ひ、漢口と云ひ、一……手腕は、些々徴す可し……過ぎたるの嫌なきにあらむ……ざる非難はあらざる也。

漢口に宿兵の駐屯する事は、世間多少の議論あり。一方には萬一の際に、役に立つ程の兵數をたくはへず、僅かに六七百の兵士を派遣しつゝ、其の爲めに痛くもなき腹を探られ、歐米人をして、排日鼓吹の口實を與ふるは、愚の骨頂也と云ふ者あり。されど他方には此の駐屯の爲めに、長江の平和の維持せらるゝは、畢竟在留本邦人之を認むるのみならず、外國人皆な然り。否な支那人と雖も、亦た然り。現に一たび事變の徴ある毎に、軍隊附近の附屋に、支那人の蝟集し來るは、其の保護に浴せんとするに他ならず。精神的に、物質的に、其の効力の多大、疑を容る可き者あり。

軍艦と、兵營とに來りて、最も氣持の善きは、剛健なる壯漢に接すると、周邊の清潔なる也。特に支那の如き地方に於ては、清潔が最も、人の心目を恰ばしむるに足る也。軍隊の衞生も、市街地より此處に移轉したるが爲めに、良好なりとは、神頭司令官の語る所也。

レース倶樂部

レース倶樂部は、專ら英人の經營する所にして、日本人も會員たる者少からず。但だ支那人は入會せしめざるのみならず、入場さへも禁じつゝあり。蓋し漢口に於ける唯一の遊園地にして、且つ娛樂機關たり。予等は倶樂部專有道路たる楓、杉、篠掛樹、楊柳等の並木生ひ茂れる、坦々たる大道に馬車を驅り、倶樂部に到る。庭上、砌邊、悉く菊花の鉢ならざるはなし。室に入り喫茶に對し、茶を喫す。何となく氣據善き倶樂部也。英人氣質の美所、長所は、僅かに此の倶樂部の經營に於ても、發揮せらる。やがて漢口に於ける中年、壯年の諸名士來り、予等の爲めに午餐會を開かれたり。料理も吾等の旅館たるターミナスホテルの、月並的に比しては、同日の論にあらず。而して來會者諸君中、特に我が郷友の多かりしは、最も快心の一と云はざるを得ず。

此れより郷友寶妻幸作君に誘はれて小蒸汽にて、長江を遡り、晴川閣下に赴き、舵を轉じて、漢水の江に入る日に到り、漢水を遡りて、一日千艘と稱する支那戎克の密閉中を縫て行き、更らに英租界の支那街に接する地點に上陸し、支那街を見物し、漢口にて逢たる鮎の巨大なるに一驚を喫して、支那苦力の叫喚に、一興を催しつゝ、台灣銀行支店の新築に、前途の多望を祝福し、茲に愈々漢口の遊を了れり。

大正六年十一月四日午前六時長江汽船大福丸客室燈下に於て

朝鮮古墳の變遷 (三)

八木奘三郎

總論

人類は古く世界の各地に分布し、且つ其年代は數十萬年に及へりと云へり。去れば地球面上は凡て人間墳墓の地なりと稱するも誣言にあらず、然れ共印度民族の如く自ら好んで水葬を行ふものあるが上に、歷年の悠久なるは其死屍多く土に化して復た痕迹を留めざる例あり。故に今日吾人の精探し得可きものは僅に人造上の丘墳及び其內部に瓦石等の槨棺有るものに過ぎず。是等も已に破壞又は發掘せられしもの十の七八に居れり。故に歷代の變遷を同一分量に知らんとすることは到底不可能なるのみならず、又其自然現象にも反せり。去れば過去の沿革は其重なる點に限ることは勿論なれ共、一葉飛んで天下の秋を知るの明あれば他は又以て類推するに足らんか。元來朝鮮の古墳は日本に比すれば其の分量甚だ尠なく、更に支那の大國に對照せば一層寂寥を感ずるなる可し。併し相互の關係の跡あり。故に其足らざる所を双方より補はば稍や完全を得可し、予が朝鮮古墳を觀察するは主として此點に在り、又古墳の研究は內地と朝鮮とを論せず多くは單純の遺り口にして、大なる資料も其效果を充分に認められざる場合あり斯は其人の力量如何にも來くならんか、要は觀察研究の法俱に其緻致に達せざるが爲めなり、予は固より人を導くの明なしと雖も、世人が單に觀察の一點よりするも、猶研究を發明との餘地ある可きを次節を述んと欲す、之れ又斯學上の利用厚生法なれば也、而も大等は後段に讓つて此には全般上尤も必要ある事柄を記載す可し。

(一) 古墳の意義

古墳とは古き墳墓の總稱なれども日本の考古學者間には慣例上自から限定の意義あり、卉は吾人の祖先が身體に玉飾りを爲し、未だ佛教の感化と支那の風俗とに化せざりし時代の墳墓、若くは多少佛の影響あるも、大體固有の迹を留むる時代の塚墓のみを指して古墳と呼べり、去れば佛教隆盛して古俗の葬風上に變化を生ぜしものは皆な碧石時代に加ふることゝなせり。然れ共朝鮮の如く古今共に大差なく、同形式の墳墓を造るものは李朝時代と雖も、其古き分は矢張り古墳と稱して不可なきに似たり、然れ共斯くては其際限なく且つ名實相叶はざれば予は姑く李朝以前の分に限らんと欲す、之れ一の便宜法に似たれども、元來日本の古墳名稱は前條の中に古式として多くの副葬品を其壙中に加ふることゝ云ふ點が必要條件となれる風あり、而して李朝時代は此點に於て稍や缺如せるが上に……[illegible]……に彼是の關係上……[illegible]……を以て……[illegible]……を除外せり。

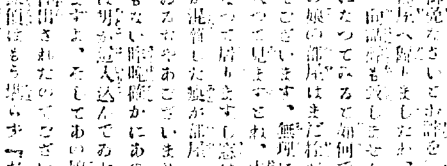
どうして

布施生譯 (三)

成程昨晩其娘さんの部屋で男の聲がしたやうに思つて眼が覺めたんですね。それは隣のお宅かと思ひましたが――御座います、の騷ぎが聞える時があるので……隣の工合で…。除り騷々しい風でございますよ――しかし間もなく其聲は止みました。其晩のまゝ私の驚と申しましたら、あの娘の部屋だと分つたのでございます。……調子づいて話してあた婦人は不圖眼に怒を湛へておろりと圖柄探偵の顏を見た『いゝわね、あの娘は行儀の好い娘でございましたわ、いゝわそれに間違はございません、それを何か訝しいやうに思召しては――』『圖柄は餘り眼子を柔らげ『いや御婦人別段何もに物を言はせ過ぎたのを恥ぢて調和』

……[illegible]……一の部屋へ……あの娘の部屋はまだ……した、あの娘の部屋……ませんか、何か取亂した……無理に……開けて見ましたが……ございません、……いて見ると娘は……ん、……何だか……取亂した……處がございますとも……が娘の部屋にあの……でございます、……したので……。圖柄探偵はもう堪らず……引張り出したと云ふ事に……なるんですね。『いゝ、實は……』……階の二階の廊下は始終……子……いますよ、それで二階には……が一寸放しにして……ございます、……其相子から件出しましたので……成程そうですか、おやあ其娘さんと云ふのは……から進んで件出されたのですね『婦人は血相を變へて……理に……出されたのでございます、……もう殺されたので無ければ之から殺されるのでございましやう、貴方餘りな事を仰有るもんぢやあございません、貴方あの娘の平生を御承知もない癖に――』圖柄は持餘して嘲嘘の機轉に話を變へ『時に其娘さんは美しい方でしたか』と聞いてみた、婦人ははつと思召した樣子で『さあ人樣は何と思召しましやうか、私は美しい娘だと存じて居りましたが』『いゝわね、それは何とでも見方次第で違ひましやう』。

訝しい事があるやうに思つたので……勿論其娘さんはございませんよ、品行が善かつたに相違ありませんそれで其お話の續きは――『婦人は踐へる手先で額の汗を拭取り『どこまで申し上げましたんでしたかね、さう〳〵男の聲が聞えた所でございましたね、私は喫驚して飛び起きると直ぐにあの娘の部屋の前まで參りました、私は驚いたものか部屋の障子を開けたでございます、そして仕舞つたのでございます……は開くて……ますが……のでございました……あの娘は隣の部屋の……ございまして……けて見たのでございます……ました、……には……



特許 專賣 蓄 洋式繩叺機械
大邱府元町二丁目 東屋商店

京日鮮滿便覽

大正七年一月元日京城日報附錄

◎京日鮮滿便覽は四六倍版百餘頁の豪本美麗高尙なる小册子にて世間普通の案內書等の如き比に非ず
◎材料正確細大を漏さず一見鮮滿の縮圖たるが上に多數の鮮明なる寫眞版を挿入し錦上更に花を添ゆ
◎鮮滿の事情を知らんと欲する人鮮滿旅行をなさんと欲する人には特に一時も放つべからざる必要書
◎配布をなすが故に其廣告の有効なる事は本誌の保證する處也贈讀希望者廣告依賴者は速に申込べし

京城日報編輯局地方部調査編纂

最新刊
名 著者 定價
田合談の天下 …… 九五
苦學實驗物語 …… 八〇
月並研究 …… 一、〇〇
人のアラ世間のアラ 生方敏郎 七五
武藏野巡禮 …… 一、三五
坊さん學校生活 天泉山學士 三〇
日記一年 …… 五〇
自己の修養 …… 五五
柳本七首集 …… 九五
皇室の御度典禮 …… 一、〇〇
西洋文明史觀 …… 五〇〇
新譯漢書法通解 中村 …… 一、三〇
社會訓 大町桂月 一、二〇
圖解珠算考へ方 …… 五〇
自問自答新代數學通解 …… 一、八〇
中外俳句抄 內藤鳴雪選 六〇
最新理化學の進步 …… 二、〇〇
振替大阪六八四・二〇八六・振京城二五七三
大阪屋號書店

特約販賣人募集
各道廳 各道郡廳 朝鮮各道種畜場 東洋拓殖會社 各地繩叺改良組合 ……御用達

鐵 鋼材 浪板、平板 針金、洋釘
ペイント、油類一切 コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャブル、帶鐵、ロープ、機械、工具、雜品、其他
白神洋行
……

冬物賣出し
◎京城… 拂下品被服類
頭巾、釣道隊、陸海軍拂下被服類 軍人手袋、靴下、寢卷、襦袢、袴下、軍用外套、鐵道多數品揃特に……
弊店特製品類
紳士用品 ……
和服類中古品
男女給、羽織、綿入、袷……
……
京城……町一丁目
金子商店

謹告

時下向寒の候各位益々御清穆奉慶賀候陳者小生今般堀尾潔氏經營の三巴商會跡を讓受け薄利多賣主義を旨とし候に付從來の如く御愛顧の程伏して奉懇願候爰に乍略儀紙上を以て御挨拶申上候　敬具

十二月一日

淺松太郎

謹告

各位愈々御清福奉慶賀候陳者弊店開業以來一方ならぬ御引立を辱し奉感謝候然るに今般都合により淺松太郎氏に店舖を讓渡候大勉強可致候に付將來一層の御愛顧御用命被成下度奉懇願候　敬具

三巴商會 堀尾潔

□三巴支店營業科目□

◎天下の美酒
◎醇良清酒
◎米穀類
◎最上醬油
◎調味料
◎麥酒及清涼飲料
◎壜詰類

酒之王金釜、色香味三絕銀釜
菊正宗、富久娘、比翼鶴、白鶴
稀正宗、賀茂正宗、花蝶、譽
精白米、半搗米、精麥
九重味淋、瓢水味淋、三清酢
特許器械製―ほまれ味噌
サッポロ、アサヒ、エビス、ミュンヘン、キリンビール、リボン印シトロン、三矢サイダー、平野水、金線サイダー
金釜、銀釜、菊正宗、其他各種蜂葡萄酒

◎天日精米所精白米販賣所
◎三巴釀造清酒販賣所
◎三巴味噌醬油販賣所
◎日本ビール株式會社特約店

朝鮮總督府。朝鮮ホテル御用達
遞信部內共同購買組合加入店
陸軍御用達

京城黃金町一丁目
三巴支店
電話長三八〇番
電話七五三番

○對日要求如何
巴里會議の結果
―出兵問題は强要せざらん

巴里會議は二十九日より開會、佛國首相クレマンソウ氏より聯合國委員歡迎の辭あり終りて軍器、船舶、交通、糧食等の五大項目に協議事項を分ち分會、部會の形式に則り各々佛國主管を加へて確的に協議を進捗する事となれり又日本の出兵問題は之を不可能とする旨日本に於ける一般新聞紙の論調として既に該地にも傳へらるゝあるを以て會議の決議として日本に之を强うる事無く他種の援助を要求するに至る可し即ち軍器、船舶或は財政上の援助等なる可しと（倫敦電報）

▲對露共同宣言か

露國現下の混沌たる政局に對し巴里會議にては徹底的協議行はる可く其結果何等かの共同宣言を發表す可しと（巴里電報）

○大軍旋回對應策

露國の離反は獨逸軍をして能く四十乃至五十箇師團を他の戰線に輸送せしむるを得可く聯合國の首腦者は其對應策を講じつゝあり各國軍司令官は之以上の大軍の旋回にも尙堪へ得べしと宣言せり（巴里電報）

○『露國は單獨講和せん』
過激派政府の聲明

レーニン及びツロツキー兩氏は聯合國軍隊勞働者及び農民に對し檄文を發し聯合國が勞働者農民の政府を承諾せざるは果して其の國民各階級の意志を表明するものなりや否や問ひ露國は十二月二日休戰談判を開始す可く若し聯合國にして談判委員を派遣せざる時は露國單獨に之を行ふべし露國は一般平和を欲するも聯合國中產階級が露國をして單獨講和の已む無きに至らしめば其責任全然彼等に著す可き旨を聲明したり（倫敦電報）

○過激派人氣を喪ふ

露都よりの報に依れば農民會議はレーニン氏に敵意を表し休戰祝賀案を否決せり過激派は露都に於ける憲法會議選擧に失敗せり（倫敦電報）

○西比利亞政府組織

オムスク人は西比利亞獨立政府を組織しクリミヤ韃靼人はクバンに獨立政府を組織せり（露都電報）

○獨軍休戰提議を受領

獨逸東軍司令官ホーフマイテル將軍は露國戰線總司令官クリレンコ將軍より休戰提議を受領せり其公式に會見の時日及び場所に就ては本國政府の命令を待ちて決す可きもクリレンコ將軍一行に對しては特別軍用列車及び電話の使用を許容す可き旨を聲明せり（倫敦電報）

○墺休戰交涉に應ず

墺軍總司令官は政府の名に於て露國當局者に對し直ちに休戰交涉に應ず可き旨を報告せり（ストックホルム電報）

●北京政局當分小康か

長袁希濤（江蘇）交通總長曹汝霖（江蘇）海軍總長劉冠雄（福建）は同時に交通系の[illegible]にして進は[illegible]徐世昌內閣と謂ふ[illegible]の命を受けて之を辭[illegible]りと見るべし[illegible]

▲結束益々堅[illegible]

[illegible]組後政局の急轉拾收し難き場合に[illegible]もして又一方徐世昌氏の甚大なる努力に對しても新內閣の成立に[illegible]の安協斷として馮總統の正式就任[illegible]政[illegible]の正式就任及び段總理[illegible]伏を遂行するの[illegible]一月大總統の改選を控へたる今日[illegible]に新內閣と雖も强ひて武力討[illegible]り西南諸省の勢威を恃みての反[illegible]

○開院式期日
多分二十七日か

第四十帝國議會は二十五日東京に召集せらるゝに付き開院式は多分二十七日擧行せらる可し（東京特電）

○財政計畫說明
首相各政黨代表者に對し

原政友會總裁は一日午後二時三十分官邸に寺內首相を訪問せるが是より先き勝田藏相も來邸し會見の上寺內首相より大正七年度財政計畫に就き說明する處あり勝田藏相之を補ひ原總裁は午後四時二十分辭去せるが尙首相は二日午前十時より犬養國民黨總理を同午後二時より[illegible]英五郎氏を官邸に招き同樣の說明を爲す可しと（東京特電）

○黑井司令官通過

旅順要港部司令官黑井中將は二日午後六時四十分通過旅順へ歸任せり（安東縣特電）

○藤原交銀顧問

支那交通銀行顧問藤原正文氏は北京行の途次二日夜入港の壹岐丸にて釜山上陸一泊の上三日朝北行の筈（釜山特電）

○唐道尹の招宴
山內長春領事の晚餐會

北京に赴き居たる吉林省長郭宗熙氏は二日午後七時三十分歸任せるが唐道尹は郭省長歡迎を兼ね來長中なる藤原獨立守備隊司令官其他日支官民を招待し午餐會を催ほせり尙山內領事は同夜郭省長及び藤原司令官其他を招き晚餐會を催す筈なり（長春特電）

◎邦商發展の好時機（上）
―日本商品と露國商人―外國爲替禁止の一因―
咸鏡北道第二部長 山崎眞雄氏談

露國政府は曩に外國爲替の取組及び五百留以上を國境外に持出すことを禁止し、尙其以前より數次に亘り品目を限りて輸入を禁じ遂に全く輸出入を禁遏して了つた爲めに、一時我國の對露貿易の杜絕したことは、周知の通りであるが、客月二十五日頃[illegible]極東に於て必要なる物資に限り[illegible]

△輸入の禁を解いたので浦鹽在留の邦商並に同地への輸入商は大に喜むでゐる、勿論物資の缺乏に苦むで居た露國人も喜むで居る筈だ、而して既に貨物の浦鹽に輸入された以上、其物資が那邊まで配給されるかは、一般に物資缺乏せる露國に於ては之を問題とする者はあるまい、戰前浦鹽に於ける露國商人が商品の廣告を新聞紙に掲載するに當り、其日本製品にあらざる旨を記して商店の信用を繫いだ時代、浦鹽在留の邦商等が相排擠し、擠陷しつゝある內に、獨逸商人は自國政府の手厚き保護を受け、殊に同胞相扶けて大磐石の如き信用を築き上てゐた

△時代は去つた 邦商が極東露領に商勢を張るは今を措いて他日に期することは出來まいと信ずる、尤も現下露國の情勢を以てすれば、多少冒險を意味することに成るかも知れぬが、夫れは商人の覺悟一つで何うにか成るものと思ふ、又如何に商人の覺悟の堅きものがあつても、先づ我商品の信用を贏ち得る工夫が必要であらう、所謂粗製濫造品の濫賣をやつてはならぬが、同時に露國商人をして日本の製造工業の狀態を詳知せしむることも肝要である

◎清會線行（6）
別府生

△師團と羅南

△記者團の一行は羅南を一巡して二手に分れた、乃ち一手はすぐ鏡城へ、而して小生の一行は[illegible]羅南松翠に於ける官民有志の歡迎午餐會に臨んだ ▲其の席上で色々の羅南觀を聞いた、然し新羅南の建設に關する重要事項は夕刊に記載したから茲に再言の煩を避ける、唯、某有力者の話しを聞くと、單に師團の完成ばかりで羅南の受くる好影響が實質上、尋常でない事を知るに足る ▲曰く、內地一箇師團の一年に撒布する經費は約二百萬圓[illegible]

所で羅南の師團を假りに同じやうなものとする、然し羅南師團は步兵一箇聯隊を咸興に又步兵一箇聯隊と工兵大隊を會寧に分駐せしむる事になつてゐるから、その經費を六七十萬圓と見積り、正味羅南に落ちる費用は先づ年額百七八十萬圓所だらう ▲所で、今日羅南駐屯の陸軍が額幾何の經常費を支辨してゐるかと云ふに、ザット四十萬圓に過ぎない、乃ち完成後の四分の一弱である、然るにそれで結構二千人の內地人を養うた ▲其の計算で行くと、師團完成の曉き、四倍八千人の內地人が羅南に生活し得る譯だ、而してそれを別とし、將校及び下士の宿舍が六百戶も出來つゝある、其の六百戶を一戶平均四人と見るも二千四百人、乃ち之れを合すると、羅南の人口は一萬人を突破する ▲此外に道廳其他の移轉、並に多額の金が羅南に落ちる事となれば、其他も其金を死藏する必要もなく、又銀行預金ばかりに化しもしない、乃ち企業の資本となり、そこに若干の生產事業も起らうと云ふものだ、幸ひに水は陸軍の水道あり、燃料は生氣嶺の石炭あり、羅南の內地人二萬と云ふ聲は近いですぞと云ふ氣焰 ▲成程、小生の郷里に近い久留米の如き、第十八師團司令部所在地となる以前は、實際市として氣息奄々だつたが、師團配在に定つて以來著しい繁昌を見てゐる、急に小市街の羅南が、師團によつて殷賑を來すと云ふ豫想は御尤もである、況んや道廳初め諸官衙も鏡城より羅南に移り來るのであるから、實際前號に書いた如く此頃の羅南は有卦に入つてゐる ▲序でに羅南に於ける花柳界の制度は朝鮮隨一だらうな、何でも市中には一人の藝妓も居ない、全部三輪の里とか云ふ遊廓地帶に打込んでゐる、そして市中で宴會と云ふ時は此の藝妓に出動さする、遊廓の藝妓は十二時になると必らず其の巢に引揚ぐる ▲つまり京城なら新町遊廓の藝妓に、自由な市中出入權を與へてゐる樣なものだ、風紀上弊害はないかと、分隊長に聞いたが、取締りを嚴にしてゐるから何等問題にならぬと宗安大尉は語してゐた

○變則內閣を自認

王士珍氏の臨時內閣組織は國會の同意無ければ正式內閣に非ずとの理由にて新內閣總理以下閣員全部處理總理處理總長たるに同意せり（北京特電）

○王士珍總長辭任

王士珍氏は陸軍總長辭任を申し出でたるに依り次長陸錦氏總長代理を命ぜられたるが將來は田文烈氏後任たる可し（北京特電）

○吉林事變解決す

吉林督軍孟恩遠氏は自ら辭職せざる限り濫りに更迭せざる事に北京政府にて決定せりと郭省長の從員は語りたり之にて吉林事變は無事解決せり（長春特電）

○王內閣樂觀を許さず
運命を左右する安協問題
南方側の意見頗る荒し

王士珍氏は內閣を[illegible]たるも[illegible]決して[illegible]人中には此の過渡內閣が二週間を維持し得可きや否やを危ぶみ居る者多し陸榮廷氏の[illegible]條件は[illegible]約法及び舊國會の恢復は無論黎元洪氏の總統復職、譚浩明氏を河南督軍に李烈鈞氏を江西督軍に、柏文蔚氏を安徽督軍に任命し尙現に南方の勢力圈內に在る各省は[illegible]南方[illegible]

●鑛物買入二千噸

鎭南浦久原精鍊所大田出張所開設以來忠南、忠北、全北の三道より買收する金銀亞鉛鑛石は日々增進の有樣なるが最近一箇月の買鑛高は約二千噸に達し其成績見るべきものあり尙ほ將來に於ては月額二千噸を買收するは左程の困難にはあらざるべしと（大田）

●鴨江鐵橋開閉中止

鴨綠江の流氷漸く多きを加へ來りたる爲め船舶の交通全く杜絕せしより鴨綠江鐵橋は例年より來春解氷期迄三十日より開閉を中止する事となれり因に鴨綠江の結氷期は目下の處氣溫比較的高きを以て[illegible]も多分本月十日前後なるべしと（安東縣）

●畜產組合新設

朝鮮重要物產同業組合令に依り牛の生產、賣買及び賣買の仲介を其の業務とする畜產同業組合の新設令般許可せられたるもの左の如し ▲名稱 光陽郡畜產同業組合 ▲地區 全羅南道光陽郡一圓

●軍司令官歸任

大演習陪觀の爲め滋賀縣下へ出張し引續き東上中なりし軍司令官松川中將は竹內高級副官を隨へ二日午後八時五十分龍山著歸任したるが市川軍參謀を始め軍師團の高級武官多數の出迎へありたり

●櫻井校と敷地買收

京城櫻井小學校敷地擴張に關し京城府にては一日午前九時より擴張地域土地所有者三十一名を召喚し[illegible]に就き協議をなし全員の[illegible]を得たるが其の[illegible]交涉纏り不日其の手續を[illegible]

●釜山驛長轉任と後任

釜山驛長[illegible]三氏は一日附を以て龍山運輸課派出員を命ぜられ同運輸課派出員[illegible]岡正雄氏當分驛長事務を取扱ふべく又釜山運輸課派出員藤本英一氏は近く釜山驛助役に轉任すべしと（釜山）

人事消息

▲大谷[illegible]（[illegible]） 二日夜入京[illegible]
▲中村啓五郎氏（[illegible]） 同上
▲鈴木正申氏（鈴木商會員） 同上
▲阿部光松氏（同[illegible]） 同上
▲サー、ハンリー、メー氏（香港總督） 同入京 朝鮮ホテルへ

█百面鏡█

遊俗した大谷光瑞師は目下臺灣滯留中だが同地から南洋セレベス島に渡つて愈々豫定の百姓を始める計畫だ相な▲師は元來何事に對しても時流を拔いた見解を持つて居る人だが二三箇月以前歐洲戰局に付いて斯んな豫言をした▲露國は今後到底獨逸の支配下から脫する事が出來なくなる▲夫れに獨墺軍は全力を傾倒して伊國を突き同國をして單獨講和の餘儀なきに至らしめる▲更に一方スエズ及び埃及方面に殺到し波斯印度の內部擾亂を企て▲海上に於ては大型潜航艇を建造して米國大西洋岸の封鎖を企てるに相違ないと▲師の此の戰局觀が最近に至り不幸にも果して著な實現するのは流石に師の卓見には敬服せざるを得ない▲歸朝した石井大使の談片に曰く▲今回の旅行中米國では屢々多數の新聞記者から包圍されたが中にも其寫眞班の活動には熱心にカメラを差向け殊に宴會の如きでは其撮影に當りて『諸君此方へ向け』と殆んど命令的に呼號する▲而して列席の紳士等も唯々として之に應じて居た……

◎日支博延期か

[illegible]可能の有様にて日本大商店の襲は無警察の姿にて在留邦人何れも不安[illegible]の內にありて[illegible]日本の[illegible]

全國商業會議所聯合會にて議決せし日華博覽會開設に關しては明年[illegible]時期[illegible]一部の反對[illegible]には贊成するも開會の時期は目下支那の形勢に鑑みて延期すべく何れ商務總會の聯合會議を開きて決すべき旨上海商務總會其他に通牒せりと（大連）

▲精密電氣機械及寫眞機 ▲電話器表示器 電鈴 修繕 新設請負修繕
京城本町三丁目（商業銀行支店前入る） 御手洗堂

十二月號 定價金二十錢・郵稅二錢
農業世界
▲技術の重用 ▲農村の生活 ▲春を待つ鶯 ▲胡瓜栽培 ▲藥用植物
東京 博文館

▲粹島デー▼
愈々本日 開演期日 十二月二日
▲面白い餘興、活動寫眞無料觀覽
▲粹島武個御買上の方には活動寫眞無料入場券一枚進呈
▲場所……有樂館
▲席の等級は區別なしお早い方勝ち
▲其外先着各參百名限り福引券進呈
▲但福引には越吳服店階品切手、反物外浮世ハーマ多數撒布す
其他一般の御客樣には館內に於て粹島
專賣元 京城本町二丁目 粹島出張店

第六十五版 代書大博士

糸なら 尾琴屋
京城明治町（電話一三五九番）

小供マント 防寒エプロン 調製
御子樣物は獨占的優美の裁縫を以て愛らしく調製仕候間御用命の程希候特に御指定の價格により如何樣とも調進仕候
小供服 婦人服 專門 コドモヤ洋裝店
京城旭町一丁目 電話取次三七九番 振替京城七六五番
洋服職工並に外交員入用 本人來談あれ

【入院隨意】 田中丸病院
京城西小門町二一番地（育英院跡）
院長 醫學士 田中丸治平
副院長 醫師 上野和夫
電話八八五番
普通病室隔離病室の設備あり

二日目六時半滿員
決鬪 青年 全三卷
新派 結婚の夜 全四卷
活劇 血の池地獄 全四卷
大好評の餘興 ジョンデー 出演
今や京城キネマ界の人氣は大正館に集る

急告!!!
警察官衙學校銀行會社及一般國民として缺くべからざる世界無二の出版物の朝鮮に於ける專賣權讓渡又は現品御買上の方は內地の方に就て文部當局內地學校紹介あり知事郡長及師範中學女學校長視學に依り現に御援助頒布中の天覽台覽の光榮を[illegible]
東京市神田區錦町三ノ六 湖南日報東京支局 振替東京一三三四四

京城本町二丁目 川合時計店 電話二二九一 振替京城一八九番

京日案內
普通 一回前金 番外 一回前金

寫眞門生至急入用 十七歲前後 但市內に保證人を要す 電話一八三 武橋町 菊田寫眞館 113

貸家 黃金町三井物產附近日本建二階家間數五、湯殿水道附 町四丁目中村 電話一九七七番 106

古本 新價買受 御報參上 明治町通 野村書店 電話三〇五〇番 100

恩給年金立替 五年迄 利一〇 即時取引退隱料一切千圓以上別 京城櫻井町二ノ一九八番 元祖 博多屋 本店 110

流尺八指南所 入門者募集 南山町二ノ一九 流祖直門 佐藤都令 111

募集 手代三名入用 但四十歲以上 並に製藥に心得ある者二名入用 青葉町二丁目百二十一番地 大橋商店 112

恩給年金立替 手數料最低 低利即金長期 年分迄無保險千圓以上特別扱 京城若草町百六 電話三〇壹壹番 西村商會

商業見習生 一名採用す年齡十五歲 本人來談あれ市內に確實なる保證人を要す 京城 天日精米所 108

恩給年金立替 五年半迄利一 三年分迄無保險 京城若草町 金光敎會裏手 電話二三九一番 國江商會 96

銃砲火藥獵具 京城明治町 電話三〇二 瀧川銃砲店 支店 太田、公州 63

山本總司令と大虎

猛虎二(水虎一)豹一を屠りて　山本征虎軍の凱旋

◇本三日午後五時漢城に入る

數名の獵師と、內地來の一大北獵[illegible]を觀賞驚羨せしむ可く誇示して起ちたる、京阪神及び九州の新聞記者團二十餘名を統率し、[illegible]の成金[illegible]を[illegible]目に[illegible]、舊都を離れ一路朝鮮の狩場を指した

征虎軍編成

◇世界大戰の絕好機會に好運一擲の百千萬金、寧ろ偶然の運勢に肖び徳を弛めた京濱、阪神の所謂成金連中が、酒池肉林、折花攀柳一夜の豪遊に萬金を散じ、一代の驕奢を極めて卑猥なる脫線振りを發揮し、大正の世道人心に一種の害毒を流しつゝあるに慨し、反省匡正の意味を併て奮然蹶起、計畫せられた近來の大壯擧は關西の富豪神戶松昌洋行社長山本唯三郎氏を總司令と仰ぎ、北朝鮮に亙りて猛獸狩に鮮曾高き名砲手のみを網羅し八隊より成る一大征虎軍の鮮山跋涉となつたのである。

山本氏奮起

◇仲秋銃獵の好季節に入るや、山本征虎軍の謀將戰士等は鳩首凝議、百戰百勝の神算鬼謀は直ちに成つた。快報を得たる山本總司令は猶然蹶起した。イデヤ往古より虎多き鮮山に狩りして數頭の猛虎悍豹を屠り(或は惰弱の徒に)其肉を喰はしめ其血を啜らしめ一大覺醒の痛棒を加へて、荒み行く現代の風潮を挽回せんものと◇北朝鮮の奧地には、朔風吹きすさみて積雪寸餘の初冬霜月始めには、山本征虎軍に配屬する日鮮聯盟猛獸狩砲將鬪士の百數十名は、八隊に分かれて虎豹を得ざれば再び見わずと、南北鮮の狩場々々に進軍した。◎情氣滿々たる人士は山本氏の輕擧を冷笑した。數萬の金を投じて渠山何に妄動するも、虎など容易に捕れるものか、今に耻面曝らして歸るべしと刺ある嘲りを以て君の首途を送つた。

果然萬々歲

◇時は霜月十日の金風肌身に心地好き時、征虎軍總司令山本氏は十[illegible]惡鬪を續けた。扨て其成績は、「虎なんか擊てるものか、豹の一匹もされたら大成功ぢや……」と冷評されたる彼は、實に北鮮に於て猛虎二頭と大豹一頭又南鮮に於て水虎一頭を獲たのであつた。

征虎軍凱旋

◇斯くて僅か三週の短時日に美事三頭の猛虎と、一頭の巨豹を獲たる山本征虎軍は、虎を追うて三週の惡戰苦鬪に一員の落伍者も出さず、昨二日夜勇氣滿々北鮮航路にて北青より元山著上陸、本三日午後五時十分には二頭の巨虎(水虎一、大豹一は既に到著)を擁し、軍勢堂々漢京に入城する事となつた。

◇山本總司令の本懷も愈々徹達せられた。征虎軍は決定的大捷を得た。君は必ずや急ぎ鮮の地を離れ阪神又は東都に於て多數現代人を[illegible]し、虎の肉を喰はし豹の血を啜らして鼓舞激勵を與へ、延いて輕佻惰弱なる現代的頽風惡習に、熱烈なる刺戟を與ふるであらう!

(征虎軍の一兵卒白川記)

□澄宮御誕辰

二日は第四皇子澄宮崇仁親王殿下第二回御誕辰に就き殿下には午前九時田内御養育掛長以下の拜賀を受けさせられ正午古式に則り御祝の御膳に就かせられ午後一時半御參內 兩陛下に御對面あらせられたるが 兩陛下よりは鮮鯛一折を御下賜ありたり(東京特電)

阿蘇帶地震は破壞的で無い

次の時期に於て稍活動を帶びん

[illegible]

霧島地震帶と阿蘇地震帶とは順調なる時は相互に活動する模樣なるが去る十年間は阿蘇帶靜謐にして

◎霧島帶活動せり、又前の十年間即ち明治三十年乃至十年には霧島帶却つて靜謐なりしが之に反して阿蘇帶は活氣を呈し損害はなかりしも人を驚かすに足るべき地震十數回を起せり、されば霧島帶が靜まれりと見做さるゝ

◎今日に於て　次回には阿蘇帶が前の如き活氣を呈することなきを保せず。但し右は大噴火大地震と云ふが如き大活動を意味するに非ず此地方の地震は大抵火山性のものゝみにして其程度人を驚かすことあるも家屋

◎人畜に損害を及ぼすことなきものなり、又噴火に就きても阿蘇山は頻繁に小活動するが爲めに大損害を與ふるが如き大活動は之を缺げり、溫泉岳は寛政年間[illegible]

◎島原の東方　海底にある[illegible]かの如く思はるゝに於てをや、之を要するに阿蘇帶の地震は主として火山性なれば假令此の地方に極度の地震を起すとも破壞的なるは絕無なるべく又阿蘇山の如き頻々に噴火する火山は大噴火をなすこと無きを常とす然かも此地帶の狀況

◎近年極めて　順調にあるを以て次の時期に於て活氣を稍帶ぶることありとするも夫は間々人を驚かすに止まり損害を與ふるが如きことはなかるべし

◎火山性地震　[illegible]て極度の程度なり斯の如き極度の地震にて見舞れたる地方に於ては今後少くとも百年位は再び斯の如きことなかるべし、溫泉岳の溫泉地方にては屢々局部の極微震を感じ稀には浴客を驚かすこともあるも是は火山、溫泉地方に於ける常態にして恐るゝに足らず、況んや[illegible]

◎寛文二年　[illegible]に於て硫黃氣の噴出活氣を呈したりしも[illegible]には噴火に非ず若し阿蘇帶が活氣を帶びたらんには此の地方の硫黃の噴出[illegible]が如きことは有り得べし熊本市には去る明治二十二年破壞的地震あり[illegible]

山頂の山崩れのために津浪の損害はありしも之と離れたる普賢山の噴火は

◎少く溶岩を流すに止まれり、鶴見岳は千五十年前微弱なる噴火後全く休息して再び活動する餘勢なきもの如し九重山は死火山にして有史以來曾て噴火したることなく、又將來に於ても噴火することなかるべく

依然官僚的の色彩を帶ぶ

[illegible]も其の成立の經過が續きて不明なれど其の眞意の相互了解を經たるものなれば南方派が之に反對を表することも無かるべく[illegible]るに對し南方派の不滿も亦甚らしく[illegible]れば政局は當分不安を持することなるべく而して其間若し妥協を[illegible]することも無くんば南方派は依然主張の貫徹に努むべきも來年十[illegible]

[illegible]總理兼陸軍[illegible]外交總長陸徵祥(江蘇)內務總長錢能訓(浙江)財政總長王克敏(浙江)司法總長江庸(福建)教育總長[illegible]王士珍(直隷)外で從つて交通、內務、農商に徐氏の直系を加へ且つ中國銀行總裁たる王克敏氏を財政總長として拔けるものあるべし[illegible]方針を踏襲するに於て[illegible]まずと聲明せしに見るも其系統は新內閣に對して衷心平らかならざるものあるべし併し馮氏の態度[illegible]

◎北滿治安警備

露國は今や革命に政變に內亂相踵ぎ全く紊亂狀態に陷り中央の紛亂は延いて各地方に廣がり北滿一帶も官民の秩序全く亂れ治安維持不可能に迫れり在留邦人警備の任にあたらしめんとの議ありとも傳へられ又既に派遣せられたりとも傳へらる何れにせよ哈市の治安警備は焦眉の急に迫れり

[illegible]東京商業會議所[illegible]氏は商議聯合會の議を齎して北京に到り政府並に財界有力者に打合せて歸途せるが其後支那の全國商會聯合會は支那側は該博覽會設立[illegible]

◎哈爾賓に我警官派遣

邦人保護の爲め

哈爾賓の狀態刻々に危險なるより居留邦人保護の爲め二日正午長春發の列車にて我警官十名哈爾賓に向へり今後の狀態により漸次增加す可し(長春特電)

美術研究會例會

京城美術研究會の例會を二日京城倶樂部に催した。▲席上[illegible]關天彭氏の「宋の畫論」と題する有益な講話があつた(其大要は近日紹介する)。▲出品者で衆目を惹いたのは[illegible]氏出品の[illegible]

定によると多分明代のものらしいとの事で、恐らく仇英の筆で最も優秀なるものであらうとの事だ。▲それから前宮氏出品の「七言偈一首」之は西山大師の筆である、之は眞筆たること疑ひなきもので筆路の沈着な如何にも氣品が備はつてゐる所は確かに珍品として推獎すべきものだ。▲橫山氏出品の[illegible]は狩野芳崖の筆で[illegible]

今回出品の書畫骨董は無慮數十點に上り何れも各自得意の說明ありて同好者をして垂涎一番せしむるものゝみであつたが、嚴島氏出品の『朝鮮古軍旗』二旒(高麗時代)は珍の珍なるもので旗には白虎、青龍を描き何れも猛の生ねてゐる所抔は當年の軍容を髣髴せしむるものがあつた。

霜の朝

◎電車と衝突

二十九日午後一時四十分頃京城電氣株式會社の第[illegible]號電車が光熙門に向け黄金町二丁目を進行中[illegible]電車に觸れ頭部左手等に[illegible]傷を負ひ[illegible]總督府醫院にて[illegible]

◎朝鮮の三寒四溫　五風十雨の話(三)

京城測候所長　高島義正氏談

概して東寄りの風の吹いてる間は低氣壓は自分の居る地に接近しつゝあるので天氣が不良であることが知れる、し西寄りの風が吹く樣になれば既に通過した證據であるから天氣が

◎程なく恢復　することが知れる、又た低氣壓が近づくと晴雨計は漸々に降る、然して中心が自分の居る地に一番近くなつた時には晴雨計は極く降つた時なので夫れからは漸々に引り低氣壓が全く去ると平常の氣壓に返るのである極く發達した低氣壓になると

◎中心の處は　無風で青空が見れることがある、之を颶風眼(所謂暴風の眼)と云ふ、されば斯る低氣壓が通過すると其土地では今迄の強き風雨も頓かに止んで靜穩となり、青空が一寸見れ暫時にして再び猛烈な風雨がやつて來る此無風で青空の見ゆる時は颶風眼の通る時なので晴雨計は最低に達するので此颶風眼は海上によくある現象で陸上よりは寧ろ海上にて

◎殊に顯著で　ある此外低氣壓部內では氣溫や濕度が所によりて大分異なつたりする事や又低氣壓の成因等に就ても一應の說明を加へたいが詳細の事は込み入りまするし專門に亘り過ぎて冗長に失する虞もあるから今回は省きて次に高氣壓の事を少しく說明しよう尚左に掲ぐるのは低氣壓部內の氣象要素の一覽表である

◇前　面◇
風は東、南東、南南西、西
此風は何れも南の方より來る氣溫は上昇す
濕氣は增加す
雲は漸々增加し又濃密となる
降雨は漸々增し降り方が強くなる
晴雨計は降る

◇後　面◇
風は西、北西、北、北東、東
此風は何れも北の方より來る氣溫は下降す
濕氣は減少す
雨量は減少す
降雨は斷續し降り方が弱くなる
晴雨計は昇る

除隊にふるまで

▽除隊の日は眼の前に迫つてくる

總務休暇は與へられる、善行證書を持つてゐる者は規定外の外出も許される、彼等は歡びに躍る心を抑へながら土産物などを整へて

◎待たれるその日

◎金十錢也の留送別會

◇三年間を無事に勤めて留許から懷かしい和服の到着

現役二箇年の步兵に比べて滿一箇年間多く兵營生活を送らねばならぬ特科隊の兵士は除隊の日を待ち佗ぶることもそれだけ餘計だといふ、尤もな話である、殊に日を同じうして入營した友達が無事滿期となつて歸鄕して家業に親しむでゐるやうな便りでも來ると特にその感が深くなるともいふ、誠に尤もな話である、その代り彼等には特科隊だといふ一種の誇りがそれを補ふてゐる、秋季の機動演習が濟むと[illegible]中に出てくる、三年間に於いて[illegible]に養つた朝鮮の智識が命ずる[illegible]土産物を買ひ入れてその日の來るのを指折り數へて待つのである、しかしながら特科隊にあつては三年兵になると同じ實科でも被服の手入れとか、兵器の手入れとか、すべて工場の方に廻て家の中で仕事をすることが多いため身體が樂になる、除隊間際に

▽これを鍛へ直して元の體力に

引き戻さうといふので馬術だの砲術だのをミッシリ行らされるので却々忙しいさうだ、しかしそれも滿期の日を眼前に控へて居れば然まで苦にもならず、平素よりは一層勤務に精勵して一通りの科程は片づけてしまふ、そして愈々除隊の日が近づいてくると中隊長の厚意で一人前十錢位の費用をかけて普通の夕食に酒の一本と肴の一品位を多くして留送別の宴の意味を含めたホンの心ばかりの會樣の事をして除隊になる者、殘る者打寄つて打解けた物語りに樂しい時間を過す、金十錢の送別宴それこそホンの形ばかりのものだがそこには

▽義理一片の送別會などには到底

見ることの出來ない親しさと愉快さが伴なふといふのも三年間家族同樣に暮らして來た仲なればこそである、この外に取分けて親しい間柄では居殘る兵が出てゆく古兵を酒保に招待して蕎麥を好物に一寸宗一の四合瓶を振舞つたり下戶黨にはお汁粉等を御馳走して別離の情を敍する場合も尠なくないさうだ、規律の嚴しい軍隊のことゝて外出先きで會食するなどといふことは禁じてあるが日曜日などには蕎麥屋の二階で悠り話をする位は默許されてゐるさうである、こんなことをしてゐる內に內地の留許から懷かしい和服帽子下駄などを揃へて送つて來る(つゞく)

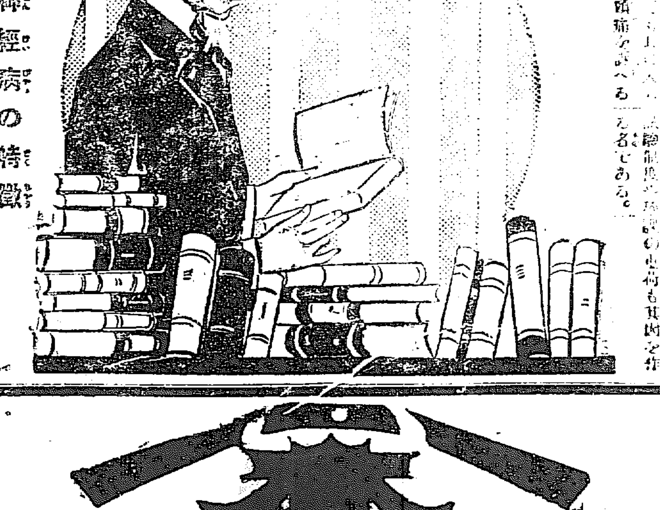
燈火親む可き時

◎讀書の好季と腦神經

今頃が最も讀書の好時節である。[illegible]

◎中學生徒にも神經衰弱

[illegible]



◎腦神經病の特徵

一般に腦神經病と云つても、素人では輕微な時は自覺しない事が往々ある。併し頭が重く頭痛がしたり、眩暈や逆上を感じ、便秘や不眠が續き精神が朦朧として倦怠や氣力を失ひ、倦怠と健忘を覺ゆる氣鬱症になる杯は凡て腦神經の故障から發るものであるから充分注意して速に治療の道を講ぜざれば病は益々重くなりゆくのみならず遂には學課も業務も廢止するの運命に陷らねばならぬ、速に適藥を用ひて此苦患から免れねばならぬ。それは非常な良藥があります

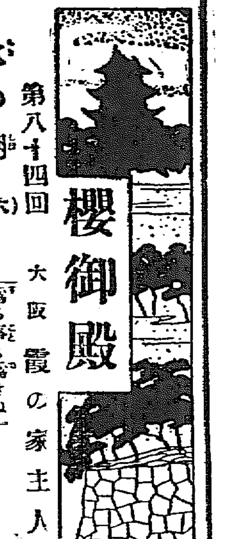
◎『健腦丸』服用を推奬す

讀書家殊に學生諸君に切に推奬するのは腦病良藥として斯界の權威たる『健腦丸』の服用である。健腦丸の著しい効果は幾萬人の患者が實驗して信頼せらるゝ處で、更に『島村醫學博士は本劑の卓效を證明』せられてゐる。發賣元なる丹平製藥堪で、數多の專門藥學者が嚴重なる監督の下に最新高貴藥のみを配伍調劑した者で腦神經衰弱症は素より腦充血を治し前項の諸徵候を速に治癒すると倶に記憶力を增し頭腦を明快ならしむる偉效がある。殊に大酒家喫煙家杯は持藥として用ふれば快く通じ逆上を引下げ怖る可き中風、卒中杯を確に防ぐ事が出來る。價は半週分四十錢より十週分五圓迄本舖は大阪心齋橋二丹平本店、全平野町丹平分店東京銘屋町丹平支店其他全國海外の各藥店に取次してゐる。先づ一週間分を試み給へ。

醬油の撰擇を誤るは年中の損
試み給へ關東唯一の絕品キハク醬油
釀造高を國に冠たり年額六萬二千石
最大の釀造高は最大の購買力に基けり
最大の購買力は品質優越の證

最上　醬油　(キハク印)

下總國野田町
茂木七郎右衛門釀造
特約店
明治町一丁目
牧野商店
電話二五三番



櫻御殿

第八十四回　秋の潮（六）　大阪　霞の家主人

助左衛門も驚いたが、初瀬も驚いて
『おゝ、采女どのといふ中に、はら／＼と涙を流した
『事情は皆な聞きました、假し、何うあらうと姉上は殺しませぬ、大矢田様お助けなされませ』
采女は斯う云つて、助左衛門の前に平伏した
『よう云ふて下された、わしの爲めに味方となつてたもるのはあたばかりぢや』
折角の覺悟も捨けて、初瀬は刄を持つたまゝ平伏し泣いた

爲る事も爲きぬ』
助左衛門は手を叉んだ
『大矢田様、何うしませう』
『暫く待たう』と吐息したが『不思議に采女の邪魔が入るも、天道和御寮の死を否みたまふ故と知れた、清之丞の一言、胸にすゑかね和御寮の首を持參して、彼の前に打ち付け、武士の意地に女の意地とを見せたいと思ふたが、兎くも考へると、死は易くて生は難い、一たんの意地に命を捨てるには忍び難いおや、負ふた子に淺瀬を敎はるとは此の事、こりや考へねばならぬ、士にても自害なるまい、況して女儀、覺悟の鈍るに不思議もない、さらば明日まで待ち申さう』
引き締つて居た室の中が、からりと天の明けたやうになつた
『有り難うござります』とお筆は幾度も禮を云ふ
『然し』と助左衛門は語を強めて『これで意地が立つた譯ではないぞ、清之丞から犬畜生と罵られたのが、消えになつた譯ではないぞ、首にして持ち參ると云ふた乃公の言葉は汚れになる [illegible]』

『采女殿、お身には合點が行くまいの』と助左衛門は叉座についた
『姉上に別れるのは嫌でござります、嫌でござります／＼』
『今は分るまい、然し、成人の後には分る、初瀬どのは意地に死ぬる、わしは意地の爲めに殺す、武士の身に取り、意地ほど大事な物はない、と云ふた處が、今のお身には分るまい、よく覺えて成人の後に知れ』と助左衛門は噛んで含めるように云ふ
『姉上、死んでは嫌ぢや、生きて下されませ／＼』
『わしも死にたくはないが、大矢田様の仰せなされた意地が大事、後を頼みます』
『いや、殺しませぬ』
采女は初瀬の右の腕に縋つた
『はて、困つたの、こりや自害をぬわい』と云つた
『それでは何う致しませう』
『斯うなつては自害もなるまい、今日一日を思案致さうではないか』
『一日の命が延びました』お筆も歡んでたもれ、明日までの命が延びた』
『嬉しうござります、これも采女様のお蔭、采女様有難うぞんじます』
お筆は采女を伏拜んだ
『姉上、自害をお止めなされまするか』
『斯うなつては死なれぬ、口惜しいが死に後れたようでござる』
初瀬は夢から覺めた如く惘として居た、助左衛門も刀を捨て
『人間第一の難關は生死の際と豫て聞く、斯くまで覺悟した事も、采女一言の邪魔に由つて妨げられる、斯様相成つては、一かどの武

京日報俳壇

秋季雜詠（十）　森莫
畑麗像の暗き眼や秋の風　同
野芝居の幕屏風や秋の風　同
帆綱張り舳欄干すや秋の風　同
眼白低ら紅葉する稍渡る哉　同
岩鼻を廻れば庄の紅葉哉　同
河霧に灯す夜や橋の下　同
鶏頭の零れ種吹く畑かな　同
曳き捨てし鶏頭起きて庭隅　同
風邪引きし鶏の巣付けて夜寒哉　同
上げ汐に乘り來る船や雁の聲　同
帝都の灯も朧に雁の渡る哉　同
境内の杉暗くとして霧飛べる　一樹
夕霧の街道や人語明かに　同
夕陽集る庄の紅葉が光る哉　同
旭に染ねて眼に痛き鶏頭哉　同
移り來て片附け濟まし夜寒哉　同
自炊子に夜寒の迫る屏風哉　同
月に小さく眠る村や雁渡る　東溪
海原は帆の影絶て雁の聲　同
霧の峰樵夫の歌が聞ゆかな　同
艤す港の唄や霧の中　同
佇停の見上ぐる峰の紅葉哉　同
滿ち潮の月に影して渡る雁　同

鷄林同人會第十七回詠草　御歌所寄人　井上通泰選

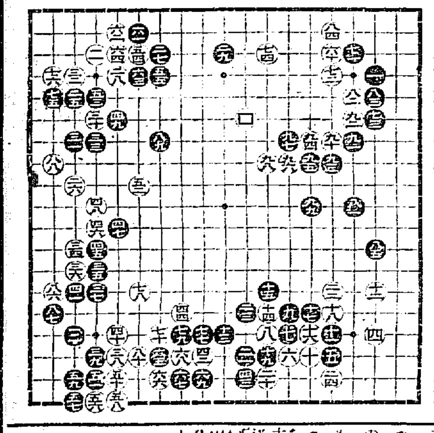
[illegible]

新刊紹介

▲黑白（一の九）十錢京城 發行所
▲家庭のローマ字（一二）五錢東京有樂町
▲生命（一の二）
▲心靈界（五）
▲工業（九の一〇四）
▲滿洲外國貿易に關する調査
▲琵琶新聞（一一）
▲圍碁虎之卷（五の一）
▲特許弘報（一の一〇）
▲商と工（五の一一）
▲中央文學（一の九）

圍碁手合（五）

五段　高部道平氏　先　三段　山平壽氏



●金融活氣付く
四十四萬圓減の一億千七百十萬圓を示したるが今後月末決濟資金の…[illegible]

●紡績成績豫想
…手百七圓乃至十圓、二十手百八十五圓、四十二手二百三十圓見當なるもの如くにして生産數に對し…[illegible]

りん病ばい毒　完全なる自宅療法
患者の弱點に乘ずる山師的賣藥屋に購着せらるゝ勿れ

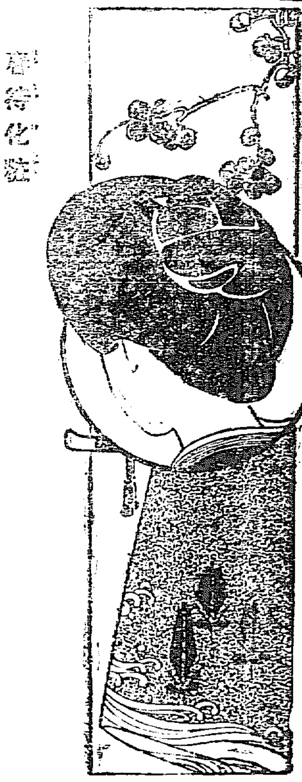
近頃化學治療だとか理學療法だとか云ふて何か新發見の療法でもあるかの樣に吹聽するものもあれども [illegible]

百圓進呈　りん病　ばい毒　藥　帝國醫科大學　京城南大門外　大阪有田ドラッグ商會

にせ物にせドラッグあり　大阪有田ドラッグ商會滿鮮本部　他の藥店に販賣を不許

…らしく發見した療法でも何でもないので種を明かせば眞ッ此通りと申上げたら讀者諸君は御合點の參る事と存じますそこで理學的療法のみで淋病や梅毒が悉く治るものでなければ化學的療法ばかりで凡ての花柳病性諸病を根治せしめ得るものでも決して／＼無いのであつて各種の患者の體質、病性、病期、症狀等に基いて種々なる方法を應用しなければ到底高金なる奏効を見る事は出來ないのである、此處に…理學的化學的の各種療法を應用して…の出來ない事情のある人々の爲めに聊か盡さんとするのであるが其無限無多種多樣の疾病に對する凡ての治療法を限ある紙上に詳説し盡し得るものでも無し又淺多の疾病の中には專門の智識と熟練せる技能を有する刀圭家の手を絶對に藉らなければならないものもありますから患者諸君は自己の病狀を打ち明けて直接御相談に御來店下さい全治の秘訣を懇篤に敎へます

●僞ドラッグあり注意●



專門化粧（その二）

御實驗なさいましたか　三越のお化粧室で

御用品　レート白粉
◎附伸がよくてお化粧が樂
◎白に艶があつて品がよい

[illegible]

樂に美しく

それで、上品に出來るので御座いません。附けた白粉は他の白粉と違つて、附けた白さに自然の艶があつてこれが頗る高尚で御座います。今のお化粧には「品」がなければなりません。その品のよい處を

充分に發揮

させてくれるのですから、全くレート白粉は、現代化粧料の随一で御座いませう。道理で御大典の節には調度部から御用があり、常に高貴方の御料となつて居ります。サア貴女も早速、お美くしくお淋遊ばせ、レート白粉をお使ひなされて！

お化粧品が

よいので、頗る樂に出來ると申して居られました。殊は、クレームレートで手早い素顏を作して頂き、レート粉白粉で仕上げの粉掃きをして貰つたのが、充分氣に入つた樣でした。

その實驗は

誰方でも試みましたが、やつぱり樂に美くしく出來ます。全く、美顏術師が申されたやうに、お化粧品の良否は…居る故で御座います

レート化粧料本舗　東京　平尾贊平

日本郵船仁川出帆
○大連行（太沽、天津行）
和歌丸　十二月廿三日　正午出
高砂丸　十二月十二日
三河丸　十二月廿一日
仁川港　回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○秀吉丸　十二月九日後四時出
○大有丸　十二月二日後四時出
○神代丸　十二月十二日後四時出
▲印大阪直行
君が代丸　十二月四日後四時出
仁川港　電話五十九番　高杉回漕部

共同汽船仁川出帆
芝罘、大連行
共同丸　十二月二日午後入港　十二月三日午後二時出
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店　本町四丁目（電話一七三番）　野口商會
京城取次店　南大門（電話二六八二〇七）　同

釜山出帆廣告
汽船
○門司、神戸、大阪行　和歌浦丸　十二月廿三日後五時出
立神丸　十二月二日後五時出
○元山、淸津、浦鹽行　和歌浦丸　十二月十二日後四時出
立神丸　十二月…日後四時出
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天草丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆
釜山港立町　本社取扱店　大池回漕部

朝鮮郵船出帆
本社　京城
釜山支店　元山出張所
仁川代理店　堀回漕部
木浦港代理店　山野回漕部
京城南大門驛前　松原運送店　電話二七〇長

○關門より釜山各地經由雄基行（但し×印あるは江原道寄港せず）
×三浦丸　十二月四日
×咸鏡丸　十二月十日
○京城丸　十二月十五日
忠淸丸　十二月二十日　釜山發
○元山より北鮮各地經由雄基行
鏡城丸　十二月一日
會寧丸　十二月五日
忠淸丸　十二月十三日
三浦丸　十二月十七日
鏡城丸　十二月…日　元山發
○浦潮行（元山より城津淸津經由）平壤丸　十二月一日　元山發
○元山より釜山關門行　三浦丸　十二月十五日　京畿丸　十二月五日　元山發
○元山より江原道寄港釜山關門行　第二商運丸　十二月二日　忠淸丸　十二月十一日　元山發
○鬱陵島行浦項及各地經由　碧德丸　十二月二日　釜山發
○浦項行（長生浦方魚津甘浦九龍浦經由）　江陵丸　隆陽丸　毎日　釜山發
○濟州島行長承浦麗水巨文島經由　昌平丸　十二月六日　釜山發
○釜山、麗水間　統營丸　巨濟丸　毎日　釜山發
○濟州島行　西歸丸、公州丸　十二月五日　慶興丸　十二月七日　木浦發
○木浦…　順天丸　三日目毎ニ木浦發
○木浦より多島海各島行　慶興丸　十二月三日　木浦發
○仁川木浦行（群山其他各地經由）　晋州丸　十二月七日　麗水丸　十二月一日　仁川發
○仁川鎭南浦行（海州其他各地經由）　宗信丸　十二月四日　仁川發
○海州行（江華島喬桐島經由）　全州丸　毎日　南陽丸　休航　仁川發
○青島行（芝罘、大連經由）　江原丸　十二月七日　仁川發